

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 30 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 7 名、前期課程 1 名、副指導教員：  
 後期課程 0 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 28 名、留学生 4 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 6 件、国際会議 6 件、会議報告 4 件、  
 大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	A Bibliometrical Analysis of Comparative Studies on Chinese Hanzi and Japanese Kanji Characters	LI Zhe、 CHENG Meng、 MAESAKO Takanori	201311	Scottish Journal of Arts, Social Sciences and Scientific Studies	16(2) pp.3-11
会議報告/口頭発表	Discover How iPads Make Science Come Alive! [Poster]	Agnes Zaorski、 Yoneda Kenzo、 Takanori Maesako、 Cathy Timpone、 Spence Zaorski	201306	International Society for Technology in Education(ISTE) Annual Conference(San Antonio)	
会議報告/口頭発表	教育現場におけるオンライン協同作業を志向したマニュアル作成—大阪大学野田村サテライトと高校支援「超鏡」実践のケースから	中村雅子、孫 帙、スペンス・ ゼオースキ、前 迫孝憲	201307	日本教育工学会研究報告集	JSET13-3 pp.69-74
会議報告/口頭発表	一人一台情報端末時代における教育情報化	前迫孝憲	201309	教育システム情報学会第 38 回全国大会基調講演	
会議報告/口頭発表	遠隔映像対話システムを用いた事前交流とその後の対面交流への影響	奥林泰一郎、 森秀樹、前迫 孝憲、森川治	201309	日本教育工学会第 29 回全国大会講演論文集	pp.897- 898
会議報告/口頭発表	地域の豊かな歴史や文化の知識を育むための算数・数学教育の研究(その1)—「資料の整理と読み」	河崎哲嗣、稻 葉芳成、前迫 孝憲	201403	2014 年度数学教育学会春季年会発表論文集(数学教育学会誌臨時増刊)	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	3D プリンターの有用性を生み出す数学教育に関する研究—その1「プロダクトデザインを創出するモデリングとその問題点」	河崎哲嗣、今井亜胡、前迫孝憲	201403	2014年度数学教育学会春季年会発表論文集(数学教育学会誌臨時増刊)	
大学・研究所等の報告	教育学における生理学指標の可能性	岡本尚子、前迫孝憲、江田英雄	201403	佛教大学総合研究所紀要	21pp. 255-265
解説・総説	面向儿童创意设计的益智数码玩具(子ども向けのデジタルおもちゃ作り)	李哲、森秀樹、前迫孝憲、張海	201306	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	170pp. 96-99
解説・総説	确保通信畅通无阻,防灾从教育做起—日本防灾教育和防灾信息基盘实践面面观(通信確保と防災教育)	李哲、前迫孝憲、張海	201307	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	171-172 pp. 185-187
解説・総説	日本教育技術実践最前沿	孫帙、李哲、前迫孝憲、張海	201310	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	174pp. 101-104
解説・総説	印尼防灾信息空间和防灾教育现状考察实录(インドネシアにおける防災情報・防災教育の現状と考察)	李哲、吉富志津代、前迫孝憲、張海	201311	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	175pp. 105-108
解説・総説	日本小学信息技术教育的现状与未来—京都府八幡市立有都小学实地考察报告	喬麗梅、李哲、前迫孝憲、張海	201312	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	176pp. 105-108
解説・総説	无远弗届:基于卫星视频会议系统的跨域虚拟空间(テレビ会議システムによる遠隔仮想空間)	李哲、奥林泰一郎、前迫孝憲、孫帙、張海	201401	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	177pp. 93-95
解説・総説	无远弗届:基于卫星视频会议系统的跨域虚拟空间	李哲、奥林泰一郎、前迫孝憲、孫帙、張海	201401	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	2014(1), pp.93-95
国際会議 (proceedings あり)	Mathematical modelling from Year 5 and 6 students in Japan—Introduction of quadratic function by drawing figures—	Tetsushi KAWASAKI、Masatoshi KISE、Takanori MAESAKO、Toshihisa NISHIMORI	201307		
国際会議 (proceedings あり)	日本开放教育资源发展历程分析(日本におけるOERに関する分析)	李哲、Spence Zaorski、前迫孝憲、張海	201311	教育情報技術—創新応用と協同発展	pp.32-36
国際会議 (proceedings あり)	日本新媒体教育应用趋势分析	李哲、前迫孝憲、張海	201312		

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Using Collaborative Documentation to Assess the Learning Process During Project-based Learning	Zhi Sun, Spence Zaorski, Masako Nakamura, Taiichiro Okubayashi, Takanori Maesako	201403	Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2014	pp.1315- 1324

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  0  科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査  0  件、副査  0  件）、修士（主査  0  件、副査  0  件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名、副指導教員：  
 後期課程  0  名、前期課程  0  名）、卒業研究指導学生数  0  名、留学生  0  名、  
 研究生  0  名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  1  件、学術論文  0  件、国際会議  0  件、会議報告  3  件、  
 大学等の報告  0  件、解説・総説  1  件、書評  0  件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	保育・幼児教育に携わる人の情報処理テキスト:幼稚園・保育所の保育実践とメディアの活用	堀田博史, 松河秀哉, 森田健宏編著	201309	みるめ書房	
会議報告/口頭発表	保育でのメディア活用を網羅した情報処理テキストの特徴	堀田博史, 森田健宏, 松河秀哉, 奥林泰一郎, 中村恵, 深見俊崇	201305	日本保育学会第66回大会発表要旨集	928
会議報告/口頭発表	遠隔映像対話システムを用いた事前交流とその後の対面交流への影響	奥林泰一郎, 森秀樹, 前迫孝憲, 森川治	201309	日本教育工学会第29回全国大会講演論文集	pp.897-898
会議報告/口頭発表	乳幼児のメディア使用に関する米国の捉え方についての検討～アメリカ小児科学会(American Academy of Pediatrics)の2度の声明を中心に～	森田健宏, 堀田博史, 佐藤朝美, 松山由美子, 中村恵, 松河秀哉, 奥林泰一郎, 深見俊崇	201403	日本教育メディア学会研究論集	第36号, pp.41-50
解説・総説	无远弗届:基于卫星视频会议系统的跨域虚拟空间	李哲, 奥林泰一郎, 前迫孝憲, 孫帙, 張海	201401	中国信息技术教育(中国情報技術教育)	2014(1), pp.93-95
国際会議 (proceedingsあり)	Using Collaborative Documentation to Assess the Learning Process During Project-based Learning	Zhi Sun, Spence Zaorski, Masako Nakamura, Taiichiro Okubayashi, Takanori Maesako	201403	Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2014	pp.1315-1324

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 6 件、国際会議 4 件、会議報告 14 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	The influence of working memory capacity on experimental heat pain	Nakae, A., Endo, K., Adachi, T., Ikeda, T., Hagihira, S., Mashimo, T., & Osaka, M.	201310	The Journal of Pain	4(10), 1088-1096
学術論文	デフォルトモードネットワーク(DMN)から脳をみる	苧阪満里子	201312	生理心理学と精神生理学	31(1), 1-3
学術論文	デフォルトモードネットワークの機能的異質性	越野英哉・苧阪満里子・苧阪直行	201312	生理心理学と精神生理学	31(1), 27-40
学術論文	Medial prefrontal cortex dissociation between self and others in a referential task: An fMRI study based on word traits.	Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	201312	Journal of Physiology-Paris	107(6), 517-525
学術論文	Extrapunitive and inropunitive individuals activate different parts of the prefrontal cortex under an ego-blocking frustration.	Minamoto, T., Osaka, M., Yaoi, K., & Osaka, N.	201401	PLoS One	9(1): e86036, 1-11
会議報告/口頭発表	Arts and the latest scientific findings in the neurosciences and psychology.	Osaka, N., & Osaka, M.	201304		
会議報告/口頭発表	ワーキングメモリ容量の大小の痛みの認知へのかかわり— Limited Capacity Model の検証 —	中江文・遠藤香織・苧阪満里子・眞下節	201307	日本ペインクリニック学会誌,	20, 225

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	An important word automatically catches eyes: A study with a dual task paradigm. (シンポジウム「Special Symposium in Honour of Rudolf Groner, part 2」)	Osaka, N., Minamoto, T., Azuma, M., Yaoi, K., & Osaka, M.	201308	ECCEM17	
会議報告/口頭発表	ワーキングメモリにおける痛みの影響	遠藤香織・中江文・藤野裕士・苧阪満里子	201309	発表論文集	799
会議報告/口頭発表	RST 課題遂行中の眼球運動の計測	東美由紀・源健宏・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	763
会議報告/口頭発表	幼児のワーキングメモリ能力の発達—リスニングスパンテストにおける全文再生の有無を指標として—	金田みずき・遠藤香織・東美由紀・稲岡いずみ・源健宏・苧阪満里子	201309	発表論文集	1041
会議報告/口頭発表	日本語版リスニングスパンテストの課題成績と視覚的イメージ鮮明度の関連	稲岡いずみ・苧阪満里子	201309	発表論文集	733
会議報告/口頭発表	眼球運動計測による視空間性ワーキングメモリ課題遂行に関わる認知プロセスの検討	肥後克己・苧阪満里子	201309	発表論文集	724
会議報告/口頭発表	頭頂皮質への経頭蓋直流磁気刺激(tDCS)が注意に及ぼす影響	源健宏・東美由紀・矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	591
会議報告/口頭発表	擬態語と擬音語の脳内神経基盤—fMRIによる検討—	矢追健・源健宏・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	604
会議報告/口頭発表	幼児のワーキングメモリの発達—LSTを用いた検討—	金田みずき・遠藤香織・東美由紀・稲岡いずみ・源健宏・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 11
会議報告/口頭発表	経頭蓋直流電気刺激(tDCS)による注意機能の促進—リーディングスパン課題を用いた検討—	源健宏・東美由紀・矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	201311	アブストラクト集	no. 10
会議報告/口頭発表	過負荷による視覚的ワーキングメモリ不全—個人差・年齢差によるアプローチ	松吉大輔・苧阪満里子・苧阪直行	201311	アブストラクト集	no. 5
会議報告/口頭発表	RST 遂行中の眼球運動: 文における単語の重要性との関連	東美由紀・源健宏・矢追健・苧阪直行・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 3

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	系列的視空間性記憶に対する構音抑制の効果	肥後克己・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 2
会議報告/口頭発表	背景音がワーキングメモリ課題遂行に及ぼす影響	遠藤香織・肥後克己・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 1
会議報告/口頭発表	Neural modulation of executive function while performing emotional biased working memory task: An fMRI study.	Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., & Osaka, N.	201311	Program	#480.12
会議報告/口頭発表	Polarity-dependent effect of tDCS on the left posterior parietal cortex in verbal attentional processing.	Minamoto, T., Azuma, M., Yaoi, K., Osaka, M., Mima, H., Fukuyama, H., & Osaka, N.	201311	Program	#183.19
会議報告/口頭発表	Onomatopoeias and mimetic words represent mirror system but generate different mental images: An fMRI study.	Yaoi, K., Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.	201311	Program	#285.13
その他	社会脳研究の最前線—ハイパースキャニングによる共感／協調的コミュニケーション—	苧阪直行・守田知代・小池耕彦・大平英樹・大坊郁夫・苧阪満里子	201309	日本心理学会第77回大会	

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：  
 後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 3 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 4 件、書評 0 件、その他（テレビ 1, ラジオ 4）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	ボランティア(ボランティア活動、NGO). 発達科学ハンドブック第7巻 災害・危機と人間	渥美 公秀	201312	新曜社	
著書	災害ボランティア 新しい社会へのグループ・ダイナミクス	渥美 公秀	201403	弘文堂	
学術論文	Fifteen Years of Disaster Volunteers in Japan: A Longitudinal Fieldwork Assessment of a Disaster Non-Profit Organization	Atsumi, T. & Goltz, J.D.	201304	International Journal of Mass Emergencies and Disasters	32,1, 220-240.
学術論文	中国の災害 NGO-「NGO 備災センター」の事例 -	劉雁・渥美公秀・杉万俊夫	201304	集団力学	30, 132-204.
解説・総説	被災者支援について-災害ボランティアから考える	渥美公秀	201304	消防科学と情報	112,6-9.
解説・総説	大規模災害時の災害NPO・災害ボランティアの受け入れに関する一考察	渥美公秀	201304	都市政策	151
解説・総説	災害ボランティア活動を通して実践し、研究する	渥美公秀	201304	生産と技術	65,3, 76-78.
解説・総説	災害に私たちはどう向き合うべきか	渥美公秀	201311	月刊社会教育	57,11, 4-12.
解説・総説	大規模災害と災害ボランティア 新しい社会に向けて	渥美公秀	201402	消防科学と情報	115, 6-9.

所属： 先端人間科学 氏名： 諏訪 晃一

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  0  科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査  0  件、副査  0  件）、修士（主査  0  件、副査  0  件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名、副指導教員：  
 後期課程  0  名、前期課程  0  名）、卒業研究指導学生数  0  名、留学生  0  名、  
 研究生  0  名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  0  件、学術論文  1  件、国際会議  0  件、会議報告  1  件、  
 大学等の報告  0  件、解説・総説  0  件、書評  0  件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	災害体験の手記集の成立過程に関する一考察	高森順子, 諏訪晃一	201311	実験社会心理学研究	(印刷中)
会議報告/口頭発表	越境する現代音楽における道具の役割	諏訪晃一	201308		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 28 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 3 件、副査 0 件）、修士（主査 3 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 8 名、前期課程 7 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生      名、研究生      名、その他（      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 3 件、会議報告      件、大学等の報告      件、解説・総説 1 件、書評 4 件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	バロックの哲学 序章	檜垣立哉	201306	思想	1070 巻 7-24
学術論文	Deleuze and Kuki	Tatsuya HIGAKI	201401	Deleuze Studies	2014-1, 94-110
学術論文	バロックの哲学 2 ジル・ドゥルーズにおけるバロック	檜垣立哉	201401	思想	1077 号 49-66
解説・総説	郡司ペギオ幸夫との対談(韓国語訳)	郡司ペギオ幸夫 檜垣立哉	201312	『生命理論』郡司ペギオ幸夫の韓国語版のあとがき部分	404-430
書評	ユートピア的身体／ヘテロとピア 書評	檜垣立哉	201309	図書新聞	3128 号
書評	澤田哲生著 『メルロ＝ポンティと病理の現象学』	檜垣立哉	201309	フランス哲学・思想研究	18 号 222-226
書評	ノマドは動かないのではないか 『動きすぎてはいけない』千葉雅也書評	檜垣立哉	201401	文學界	第 68 巻 第 1 号
書評	ドゥルーズにおけるヒューム主義について 書評 千葉雅也	檜垣立哉	201403	『思想』	1079, 155-162

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 6 名、副指導教員：  
 後期課程 4 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数      名、留学生 38 名、  
 研究生 1 名、その他（ G30 学生 24 人の指導教員 ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 4 件、会議報告 4 件、  
 大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	Mapping Changing Identities: New Directions in Uncertain Times	Alexander, Claire; Kaur Raminder and St Louis Brett 他	201308	Routledge	57-68
学術論文	国際バカロレアを修了した学生の特徴—大学の「G30」英語による学部コースの実践から見た視点	山本 ベバリーアン	201308	化学と教育	Vol 61, No. 7
会議報告/口頭発表	思春期リスク行動の診断と対処の日本版ツールの提案 —英国の Traffic Light Tool の応用	山本 ベバリーアン, 北野 尚美	201305		
会議報告/口頭発表	Constructing youth, constructing youth sexuality: An analysis of two national policies framing adolescent sexual behaviour in Japan and UK	山本ベバリーアン	201309		
会議報告/口頭発表	Stumbling around in the light: Japan's Global 30 Initiative Seen at the End of the Funding Cycle	山本ベバリーアン, 石倉佑季子	201310		
会議報告/口頭発表	Enabling PhD students to participate as writers in international debates	山本ベバリーアン, ルイナマリー	201312		
会議報告/口頭発表	Nurturing global human resources locally: An up close assessment of Japanese Government's IB 200 schools project	山本ベバリーアン	201403		

所属： 先端人間科学 氏名： 石井 正子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 11 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 9 名、前期課程 22 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 10 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 3 件、会議報告 3 件、大学等の報告 2 件、解説・総説 1 件、書評 2 件、その他（ ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	新・知性と感性の心理 認知心理学最前線	行場次朗, 箱田裕司(編)	201403	福村出版	
学術論文	Resemblance to familiar faces is exaggerated in memory	Tomita, A., Yamamoto, S., Matsushita, S., & Morikawa, K.	201401	Japanese Psychological Research	Vol.56, PP.24-32
会議報告/口頭発表	部分的に遮蔽された顔刺激への単純接触効果	富田瑛智, 松下戦具, 森川和則	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	P.634
会議報告/口頭発表	アイシャドウによって目が大きく見える錯視の量	松下戦具, 山南春奈, 森川和則	201311	日本顔学会誌	Vol.13, P.241.
会議報告/口頭発表	遠目で美人度は増すか? アイメイクにおける観察距離の効果	森川和則, 山南春奈, 高木悠多, 富田瑛智, 松下戦具	201311	日本顔学会誌	Vol.13, P.200
会議報告/口頭発表	平均顔への虚再認率を用いた人種効果の検討	富田瑛智, 松下戦具, 森川和則	201312		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  10  科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査  0  件、副査  0  件）、修士（主査  0  件、副査  3  件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名、副指導教員：後期課程  0  名、前期課程  1  名）、卒業研究指導学生数  3  名、留学生  0  名、研究生  0  名、その他（   ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  1  件、学術論文  2  件、国際会議  0  件、会議報告  0  件、大学等の報告  0  件、解説・総説  0  件、書評  0  件、その他（   ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	最新心理学事典	赤井誠生・安藤明人	201312	平凡社	548-551
会議報告/口頭発表	読書中のフローと感情移入が読書の楽しみに与える影響	野村弘平・赤井誠生	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	1112
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その 27 -2011 年 2 月における初潮年齢の動向-	日野林俊彦,清水真由子,大西賢治,金澤忠博,赤井誠生,南 徹弘	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	1035

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 7 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Resemblance to familiar faces is exaggerated in memory	Tomita, A., Yamamoto, S., Matsushita, S., & Morikawa, K.	201401	Japanese Psychological Research	Vol.56, PP.24-32
会議報告/口頭発表	水平動き撮像に伴う視点設定時の奥行き感への影響	矢野澄男・櫻井研三・須佐見憲史・松下戦具・Ono Hiroshi	201307	Vision	25(3) 148
会議報告/口頭発表	Mere exposure effect for amodally completed faces	Tomita, A., Matsushita, S., & Morikawa, K.	201308	Perception 42 ECVP Abstract Supplement	42 p197
会議報告/口頭発表	Influence of saccade direction on illusory motion	Matsushita, S., Muramatsu, S., & Kitaoka, A.	201308	Perception 42 ECVP Abstract Supplement	42 p39
会議報告/口頭発表	部分的に遮蔽された顔刺激への単純接触効果	富田瑛智, 松下戦具, 森川和則	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	P.634
会議報告/口頭発表	看護学校での充実度に影響する因子	松下戦具	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	アイシャドウによって目が大きく見える錯視の量	松下戦具, 山南春奈, 森川和則	201311	日本顔学会誌	Vol.13, P.241.
会議報告/口頭発表	遠目で美人度は増すか? アイメイクにおける観察距離の効果	森川和則, 山南春奈, 高木悠多, 富田瑛智, 松下戦具	201311	日本顔学会誌	Vol.13, P.200
会議報告/口頭発表	平均顔への虚再認率を用いた人種効果の検討	富田瑛智, 松下戦具, 森川和則	201312		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 3 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 4 名、副指導教員：  
 後期課程 5 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 2 名、  
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 6 件、  
 大学等の報告 1 件、解説・総説      件、書評      件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	心理学から考えるヒューマンファクターズ-安全で快適な新時代へ	篠原一光,中村隆宏	201304	有斐閣	1-22,41-60
著書	認知心理学ハンドブック	日本認知心理学会	201312	有斐閣	92-93, 98-101, 114-115
学術論文	自動車開発とドライバ特性の評価における実験心理学的手法の活用と貢献	木村貴彦,篠原一光	201403	自動車技術	68,3, 86-91
会議報告/口頭発表	業務環境が繁忙感と精神的作業負荷に及ぼす影響	彦野賢,篠原一光,内藤宏,松井裕子	201305	日本人間工学会第54回大会講演集	272-273
会議報告/口頭発表	待機中の情報提示と行為が待機時間の知覚に及ぼす影響	篠原一光,新井田統	201309	日本応用心理学会第80回記念大会発表論文集	135
会議報告/口頭発表	刺激検出課題を用いた車載情報機器操作によるドライバの精神的作業負荷の評価—シミュレータ実験と実車実験との比較—	藤井達史,内藤宏,篠原一光,石川貴洋,松岡孝,石田健二	201310	自動車技術会2013年秋季大会学術講演会前刷集	107-13, 7-12
会議報告/口頭発表	どのような運動が刺激の誘目性を高めるか	原田僚子,内藤宏,篠原一光	201311	関西心理学会第125回大会発表論文集	74
会議報告/口頭発表	サイモン効果の増加に関わる要因を調べる研究	田飛,篠原一光,内藤宏	201312	平成25年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集	15-18
会議報告/口頭発表	拡大運動によって高められる視覚刺激の目立ちやすさの検討	原田僚子,内藤宏,篠原一光	201403	モバイル'14研究論文集	21-24

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
大学・研究所等の報告	車載情報機器操作時の精神的負担の行動的評価手法の開発と有効性の検討	石川貴洋,石田健二,吉田周平,内藤宏,篠原一光	201312	デンソーテクニカルレビュー	18, 104-113
国際会議 (proceedingsあり)	Development of multimodal stimulus detection task for assessing mental workload associated with operating in-vehicle information systems	Takahiro Ishikawa, Kenji Ishida, Yoshida Shuhei, Hiroshi Naito, Kazumitsu Shinohara	201310	Proceedings of the 20th ITS world congress Tokyo 2013	CDROM
国際会議 (proceedingsあり)	Useful field of view in augmented reality: comparison between distribution of attention under binocular and monocular observation	Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki, Haruhiko Okumura	201312	Proceedings of the international display workshops	30, 1442-1445

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201312	Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki, Haruhiko Okumura	Best Paper Award	The 20th International Display Workshops (IDW'13)

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 5 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	業務環境が繁忙感と精神的作業負担に及ぼす影響	彦野賢,篠原一光,内藤宏,松井裕子	201305	日本人間工学会第 54 回大会講演集	272-273
会議報告/口頭発表	刺激検出課題を用いた車載情報機器操作によるドライバの精神的作業負担の評価—シミュレータ実験と実車実験との比較—	藤井達史,内藤宏,篠原一光,石川貴洋,松岡孝,石田健二	201310	自動車技術会 2013 年秋季大会学術講演会前刷集	107-13, 7-12
会議報告/口頭発表	どのような運動が刺激の誘目性を高めるか	原田僚子,内藤宏,篠原一光	201311	関西心理学会第 125 回大会発表論文集	74
会議報告/口頭発表	サイモン効果の増加に関わる要因を調べる研究	田飛,篠原一光,内藤宏	201312	平成 25 年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集	15-18
会議報告/口頭発表	拡大運動によって高められる視覚刺激の目立ちやすさの検討	原田僚子,内藤宏,篠原一光	201403	モバイル'14 研究論文集	21-24
大学・研究所等の報告	車載情報機器操作時の精神的負担の行動的評価手法の開発と有効性の検討	石川貴洋,石田健二,吉田周平,内藤宏,篠原一光	201312	デンソーテクニカルレビュー	18, 104-113
国際会議 (proceedings あり)	Development of multimodal stimulus detection task for assessing mental workload associated with operating in-vehicle information systems	Takahiro Ishikawa, Kenji Ishida, Yoshida Shuhei, Hiroshi Naito, Kazumitsu Shinohara	201310	Proceedings of the 20th ITS world congress Tokyo 2013	CDROM

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Useful field of view in augmented reality: comparison between distribution of attention under binocular and monocular observation	Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki, Haruhiko Okumura	201312	Proceedings of the international display workshops	30, 1442-1445

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201312	Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki, Haruhiko Okumura	Best Paper Award	The 20th International Display Workshops (IDW'13)

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 7 名、前期課程 1 名、副指導教員：  
 後期課程 4 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 5 件、会議報告 9 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 2 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	人はなぜ集団になると怠けるのか 社会的な手抜き心理学	釘原直樹	201310	中央公論新社 (中公新書)	
著書	発達科学ハンドブック	釘原直樹 第7巻(災害・危機と人間行動)第5章 戦争・テロ担当 (矢守克也、前川あさ美編)	201312	新曜社	
学術論文	職場風土の短期的変化要因	高原龍二・宮本友介・釘原直樹	201403	対人社会心理学研究	14号 53-60
学術論文	スケープゴート現象の定義とメカニズム	釘原直樹	201403	対人社会心理学研究	14号 1-15
学術論文	向社会的行動における競争的利他主義の検討	阿形亜子・釘原直樹	201403	実験社会心理学研究	53・2 108-115
会議報告/口頭発表	「状況的不謹慎」に関する時期推定の試み	村上幸史・阿形亜子・植村善太郎・釘原直樹	201307		
会議報告/口頭発表	ラベルとしての『正義』による攻撃の正当化 一内集団成員と第三者の視点における影響の違い一	寺口 司・釘原直樹	201307		
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(25) 異種刺激の経時的変化が頻度評価に及ぼす影響	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	201309		
会議報告/口頭発表	不安がサブタイプ化に及ぼす影響	武藤麻美・釘原直樹	201309		

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	パーソナリティ特性がタッチ性向に及ぼす影響: 日本人大学生の調査から	曹美庚・釘原直樹	201309		
会議報告/口頭発表	サイバーローフィング—職場環境とパーソナリティ要因の影響—	阿形亜子・釘原直樹	201311		
会議報告/口頭発表	精神障害者に対する心理的排除に関する研究	武藤麻美・釘原直樹	201311		
会議報告/口頭発表	パーソナリティ特性がタッチ性向に及ぼす影響: 日本の中学生とその保護者に対する調査分析を中心に	曹美庚・釘原直樹	201311		
会議報告/口頭発表	大集団の同調実験	釘原直樹・寺口司・上田耕平	201311		
会議報告/口頭発表	ラベリングと評価者の立場の違いが攻撃評価に及ぼす影響—原因帰属からの検討—	寺口 司・釘原直樹	201311		
国際会議 (proceedings あり)	Reputation-based contribution and member status.	AGATA, A. & KUGIHARA, N.	201308		
国際会議 (proceedings あり)	“The impact of the Big Five personality traits on the propensity to touch: based on a survey of university students in Korea”	Mikyung Cho, Naoki Kugihara	201308		
国際会議 (proceedings あり)	Effects of changing frequency of heterogeneous stimuli over time on estimation of frequency	Naoki Kugihara	201312		
国際会議 (proceedings あり)	The effect of labeling and the evaluators' viewpoint on evaluation of aggression	Teraguchi, T. & Kugihara, N.	201402		
国際会議 (proceedings あり)	The effects of anxiety on subtyping	Mami MUTO and Naoki KUGIHARA	201402		

所属： 行動学系 氏名： 阿形 亜子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	環境配慮行動を促進する新変数の検討	柿本敏克・阿形亜子	201311	応用心理学研究	39, 122-131.
学術論文	向社会的行動における競争的利他主義の検討	阿形亜子・釘原直樹	201403	実験社会心理学研究	53・2・108-115

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 5 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 8 名、前期課程 8 名、副指導教員：後期課程 9 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 2 名、研究生 3 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 5 件、国際会議 5 件、会議報告 6 件、大学等の報告 3 件、解説・総説 4 件、書評 0 件、その他（ DVD 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	ジェロントロジー入門	生活・福祉環境づくり21・日本応用老年学会編著(編集委員会:柴田 博・安藤孝敏・川瀬健介・佐藤眞一・白澤政和・平林規好・渡辺修一郎)	201309	社会保険出版社	
著書	DVD 高齢期の認知・注意・記憶の発達と支援	佐藤眞一	201311	サン・エデュケーショナル	
学術論文	孤独感を媒介としたソーシャルサポートの授受と中高年者の精神的健康の関係—UCLA 孤独感尺度第3版を用いて—	豊島 彩, 佐藤眞一	201304	老年社会科学	35, 29-38.
学術論文	老年心理学からのアプローチによる認知症研究の基礎と応用	佐藤眞一	201312	発達心理学研究	24, 495-503.
学術論文	認知症高齢者の痛みの訴え, 食事拒否, 義歯外し拒否への対応に関する実証的検討—他職種連携・協働による仮説検証型事例検討の試み—	田中真理, 佐藤眞一ほか	201312	高齢者のケアと行動科学	24, 495-503.
学術論文	高齢期における食生活スタイルとソーシャルサポートの関連	大庭輝・野内類・高野裕治・高野春香・島内晶・豊島彩・佐藤眞一	201401	老年社会科学	35, 429-437.
学術論文	高齢者のソーシャルサポートの提供に対する評価の質的検討	豊島彩, 佐藤眞一	201403		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	老年心理学の先駆者 橘覚勝の足跡	中川威, 山本浩市, 権藤恭之, 佐藤眞一	201403	生老病死の行動科学	17/18, 9-14.
会議報告/口頭発表	Cultural differences in explicit attitudes toward the elderly and perceptions of inadequate elder care among students from Japan and America.	Moriwaki, M., Walker, S., Nunez, N.L., and Sato, S.	201304		
会議報告/口頭発表	米国版 Well-being Picture Scale の我が国における高齢者用改訂版作成の検討—軽度認知障害, 健康障害を持ついわゆる虚弱高齢者への活用に向けて—	中野雅子, 佐藤眞一, 権藤恭之, 中川威, 石岡良子	201306		
会議報告/口頭発表	高齢者虐待に関する若者の認識と潜在的・顕在的態度の関連—虐待の背景に着目して—	豊島 彩, 佐藤眞一, 田渕 恵	201306		
会議報告/口頭発表	中高年者の対人関係の志向性による孤独感の分類	豊島彩, 佐藤眞一	201309		
会議報告/口頭発表	超高齢社会における高齢者の社会参加	佐藤眞一, 高山緑, 片桐恵子, 菅原育子, 安部幸志, 大川一郎	201309		
会議報告/口頭発表	高齢者と若年者の虚偽記憶について—情動語からの検討—	島内 晶・佐藤眞一	201309		
会議報告/口頭発表	認知症ケアに携わる介護職員の仕事の有能感と介護負担感の関連	大庭 輝・佐藤眞一	201311		
会議報告/口頭発表	親子間でのソーシャルサポート授受が自己概念に及ぼす影響	豊島彩, 中原純, 佐藤眞一	201403		
大学・研究所等の報告	高齢者介護に関する調査報告書	佐藤眞一, 豊田麻美, 大庭輝, 久保田 彩	201403		
解説・総説	老年心理学の先駆者 橘覚勝の足跡	中川 威, 山本浩市, 権藤恭之, 佐藤眞一	201403	生老病死の行動科学	17-18
書評	生涯発達と加齢	佐藤眞一	201312	認知症ケア事例ジャーナル	6, 348-350.
国際会議 (proceedings あり)	Relationship between providing social support and loneliness among the middle aged and the elderly.	Toshima, A. & Sato, S.	201306		
国際会議 (proceedings あり)	Day-care staff members' views on care users and the relationship of those views to the care they provide.	Toyoda, M., Gao, H. & Sato, S.	201306		

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Dose positivity effect occur in unintentional memory retrieval?	Ueno, D., Gondo, Y, Sato, S. & Masumoto, K.	201306		
その他	心理学と認知症	佐藤眞一	201309	ぼ〜れぼ〜れ	398, 12.
その他	認知症を理解する—ともに歩むために—	佐藤眞一	201309	月刊福祉	96(10), 54-55.
その他	認知症の社会的認知	佐藤眞一	201403	ぼ〜れぼ〜れ	404, 12

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 0 件、副査 6 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 7 名、副指導教員：  
 後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 名、  
 研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 10 件、国際会議 20 件、会議報告 20 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 3 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	健康長寿の社会文化的文脈	中川 威	201310	風間書房	
学術論文	日本語版 Valuation of Life (VOL) 尺度の作成	中川威, 権藤恭之, 増井幸恵, 石岡良子, 田淵恵, 神出計, 池邊一典, 新井康通, 高橋龍太郎	201304	心理学研究	84(1), 37-46.
学術論文	日本版老年的超越質問紙改訂版の妥当性および信頼性の検討	増井幸恵, 中川威, 権藤恭之, 小川まどか, 石岡良子, 立平起子, 池邊一典, 神出計, 新井康通, 高橋龍太郎	201304	老年社会科学	35(1), 49-59
学術論文	中高年期における感情調整の発達に関する横断的研究—年齢, 身体機能, 感情調整, 精神的健康の関係に注目して	中川威, 権藤恭之, 石岡良子, 田淵恵, 増井幸恵, 呉田陽一, 高山緑, 富澤公子, 高橋龍太郎	201307	パーソナリティ研究	22・1・13-22

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Generativity and Interaction Between the Old and Young: The Role of Perceived Respect and Perceived Rejection	Megumi Tabuchi, Takeshi Nakagawa, Asako Miura, Yasuyuki Gondo	201311	The Gerontologist	First published online: November 22, 2013
会議報告/口頭発表	米国版 Well-being Picture Scale の我が国における高齢者用改訂版作成の検討—軽度認知障害, 健康障害を持ついわゆる虚弱高齢者への活用に向けて—	中野雅子, 佐藤眞一, 権藤恭之, 中川威, 石岡良子	201306		
解説・総説	老年心理学の先駆者 橘覚勝の足跡	中川 威、山本浩市、権藤恭之、佐藤眞一	201403	生老病死の行動科学	17-18

(1) 平成 24 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 5 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 24 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 4 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（受賞 0 件・外部資金 1 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	健康長寿の社会文化的文脈	中川 威	201310	風間書房	79-90
学術論文	日本語版 Valuation of Life (VOL) 尺度の作成	中川威, 権藤恭之, 増井幸恵, 石岡良子, 田淵恵, 神出計, 池邊一典, 新井康通, 高橋龍太郎	201304	心理学研究	84(1), 37-46.
学術論文	日本版老年的超越質問紙改訂版の妥当性および信頼性の検討	増井幸恵, 中川威, 権藤恭之, 小川まどか, 石岡良子, 立平起子, 池邊一典, 神出計, 新井康通, 高橋龍太郎	201304	老年社会科学	35(1), 49-59
学術論文	中高年期における感情調整の発達に関する横断的研究—年齢, 身体機能, 感情調整, 精神的健康の関係に注目して	中川威, 権藤恭之, 石岡良子, 田淵恵, 増井幸恵, 呉田陽一, 高山緑, 富澤公子, 高橋龍太郎	201307	パーソナリティ研究	22・1・13-22
学術論文	Generativity and Interaction Between the Old and Young: The Role of Perceived Respect and Perceived Rejection	Megumi Tabuchi, Takeshi Nakagawa, Asako Miura, Yasuyuki Gondo	201311	The Gerontologist	First published online: November 22, 2013

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	米国版 Well-being Picture Scale の我が国における高齢者用改訂版作成の検討—軽度認知障害, 健康障害を持ついわゆる虚弱高齢者への活用に向けて—	中野雅子, 佐藤眞一, 権藤恭之, 中川威, 石岡良子	201306		
解説・総説	老年心理学の先駆者 橘覚勝の足跡	中川 威、山本浩市、権藤恭之、佐藤眞一	201403	生老病死の行動科学	17-18

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 4 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	ナビゲーション情報が経路探索に与える影響	乾将晃, 青野正二, 平松裕貴	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	p.1237
会議報告/口頭発表	日本の歌謡曲におけるテンポと印象の関係	河内なつみ, 丹羽一希, 青野正二	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	p.891
会議報告/口頭発表	コミュニケーションが環境音及び音源側の評価に与える影響	河内なつみ, 青野正二	201403	日本音響学会春季研究発表会講演論文集	pp.1057-1060
会議報告/口頭発表	視聴覚実験に基づく街路環境の望ましさについての検討 - 望ましさの要因構造のモデル化 -	乾将晃, 青野正二	201403	日本音響学会春季研究発表会講演論文集	pp.1053-1056

所属： 行動学系 氏名： 臼井 伸之介

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 24 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：  
 後期課程 4 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 0 名、  
 研究生      名、その他（      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 11 件、国際会議 4 件、会議報告 7 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	リスク認知と安全行動、「産業安全保健ハンドブック」	臼井 伸之介	201305	労働科学研究所	378-381
著書	ヒューマンエラー、注意と安全「認知心理学ハンドブック」	臼井 伸之介	201312	有斐閣	110-113
学術論文	リスク傾向と違反行動との関連についての実験的検討	森泉慎吾, 臼井伸之介	201304	交通科学	43(2), 38 - 45
学術論文	Behavior under High Arousal Conditions: On the Difference between High Optimists and Low Optimists	Mayuko UEDA, Kazushige WADA, Shinnosuke USUI	201309	Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics	Vol.6,(2), 100-110
学術論文	ヴェジランス課題における口頭課題の影響	山田健太, 臼井伸之介	201312	人間工学	49 (6), 289-296

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201304	中井 宏, 臼井伸之介	国際交通安全学会賞	(公財)国際交通安全学会

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 6 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	運行管理の心理学—理論と実際—	中・高年職業ドライバー研究会	201310	公益財団法人関西交通経済研究センター	160-165
学術論文	同乗者に安心をもたらす運転とは	中井 宏・臼井伸之介	201305	交通科学	43(2), 65-66
会議報告/口頭発表	年齢・経験の観点から見たバス乗務員のストレスと運転への影響	中井 宏・小川和久	201306	日本交通心理学会第 78 回大会発表論文集	61-64.
会議報告/口頭発表	年齢と経験の観点からみたバス運転者の事故・ヒヤリハットの分析	須和憲和・森泉慎吾・中井宏・臼井伸之介	201306	日本交通心理学会第 78 回大会発表論文集	53-56.
会議報告/口頭発表	高齢ドライバーの運転行動と運転補償方略の関係	蓮花のぞみ・中井 宏・臼井伸之介	201306	日本交通心理学会第 78 回大会発表論文集	25-28.
会議報告/口頭発表	バス乗務員に対するストレス診断ツールの開発	小川和久・中井宏	201306	日本交通心理学会第 78 回大会発表論文集	57-60.
会議報告/口頭発表	操船者用ストレス尺度開発に向けて	中井 宏・瀧真輝	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	1170
解説・総説	自己評価の観点を取り入れたドライバー教育について	中井 宏	201306	交通安全教育	48(7), 6-17.

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201304	中井 宏, 臼井伸之介	国際交通安全学会賞	(公財)国際交通安全学会
201308	中井 宏	大阪大学総長奨励賞(研究部門)	大阪大学
201312	中井 宏	交通科学研究会優秀発表賞	交通科学研究会

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査1件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
 後期課程2名、前期課程1名）、卒業研究指導学生数1名、留学生    名、  
 研究生    名、その他（    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書2件、学術論文1件、国際会議    件、会議報告2件、  
 大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（    ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	発達心理学事典	日野林俊彦	201305	丸善出版	
著書	新・青年心理学ハンドブック	日野林俊彦	201401	福村出版	149-160
学術論文	Preschool children's behavioral tendency toward social indirect reciprocity	KATO-SHIMIZU M.*, ONISHI K.*,KANAZAWA T., & HINOBAYASHI T. *MK and KO contributed equally to this paper	201308	PLOS ONE	8(8): e70915.
会議報告/口頭発表	学齢期検診から見た生殖補助医療の長期的影響	金澤忠博,安田純,鎌田次郎,日野林俊彦,南 徹弘,末原則幸,北島博之,藤村正哲,糸魚川直祐	201306	日本周産期・新生児医学会雑誌	49(2): 585
会議報告/口頭発表	心の理論、語彙量、社会関係が3-4歳児の仲直り行動に与える影響	大西賢治, 桑岡樹, 金澤忠博, 日野林俊彦	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	1019.

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	PECSが自閉症スペクトラム障害児の社会コミュニケーション行動に及ぼす効果—集団自由遊び場面における対照群との比較を通して—	永井祐也, 金澤忠博, 日野林俊彦	201309		
会議報告/口頭発表	高機能自閉症スペクトラム児の心の理論や共同注意の能力と実際の社会的行動の関係	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦, 籠本孝雄	201309		
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その27—2011年2月における初潮年齢の動向—	日野林俊彦, 清水真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生, 南 徹弘	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	1035
会議報告/口頭発表	思春期女子における興味・関心の変化	日野林俊彦, 清水真由子, 金澤忠博, 南 徹弘, 糸魚川直祐	201403	日本発達心理学会第25回大会発表論文集	543
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の行動や学習の問題は本当に発達障害なのか?	金澤忠博, 鎌田次郎, 安田 純, 井崎基博, 清水真由子, 日野林俊彦, 南 徹弘, 北島博之, 藤村正哲, 糸魚川直祐	201403		672
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の読みの特性	井崎基博, 金澤忠博, 鎌田次郎, 日野林俊彦, 北島博之, 糸魚川直祐	201403		427
国際会議 (proceedings なし)	Attention to social cues in extremely low birth children with autism.	Isaki M. Kanazawa T. Hinobayashi T. Kitajima H. Fujimura M. Itoigawa N.	201309	Abstracts for 16th European Conference on Developmental Psychology,	184
国際会議 (proceedings なし)	Perinatal complications and psychological outcomes at school age for extremely-low-birthweight children in Japan.	Kanazawa, T. Hinobayashi, T. Hirano, S. Kitajima, H. Fujimura, M. Itoigawa, N.	201309	Abstracts for 16th European Conference on Developmental Psychology	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201403	清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南 徹弘	第 23 回日本発達心理学会学会賞	日本発達心理学会

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：  
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、  
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 4 件、会議報告 17 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Preschool children's behavioral tendency toward social indirect reciprocity	KATO-SHIMIZU M.*, ONISHI K.*, KANAZAWA T., & HINOBAYASHI T. *MK and KO contributed equally to this paper	201308	PLOS ONE	8(8): e70915.
会議報告/口頭発表	学齢期検診から見た生殖補助医療の長期的影響	金澤忠博, 安田純, 鎌田次郎, 日野林俊彦, 南 徹弘, 末原則幸, 北島博之, 藤村正哲, 糸魚川直祐	201306	日本周産期・新生児医学会雑誌	49(2): 585
会議報告/口頭発表	心の理論、語彙量、社会関係が3-4歳児の仲直り行動に与える影響	大西賢治, 桑岡樹, 金澤忠博, 日野林俊彦	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	1019.
会議報告/口頭発表	PECSが自閉症スペクトラム障害児の社会コミュニケーション行動に及ぼす効果—集団自由遊び場面における対照群との比較を通して—	永井祐也, 金澤忠博, 日野林俊彦	201309		
会議報告/口頭発表	高機能自閉症スペクトラム児の心の理論や共同注意の能力と実際の社会的行動の関係	岡本駿一, 金澤忠博, 井崎基博, 大西賢治, 日野林俊彦, 籠本孝雄	201309		

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その27 -2011年2月における初潮年齢の動向-	日野林俊彦,清水真由子,大西賢治,金澤忠博,赤井誠生,南 徹弘	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	1035
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の行動や学習の問題は本当に発達障害なのか?	金澤忠博,鎌田次郎,安田 純,井崎基博,清水真由子,日野林俊彦,南 徹弘,北島博之,藤村正哲,糸魚川直祐	201403		672
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の読みの特性	井崎基博,金澤忠博,鎌田次郎,日野林俊彦,北島博之,糸魚川直祐	201403		427
国際会議 (proceedings なし)	Poor Physical Performance in Extremely Low Birth Weight (ELBW) Infants at 7-9 Years: Association with Impaired Lung Function.	Tamai K. Nishihara M. Hirata K. Shiraishi J. Hirano S. Nakayama M., Yano S. Kanazawa T. Fujimura M. Kitajima H.	201305	Abstracts of Pediatric Academic Societies' 2013 Annual Meeting	
国際会議 (proceedings なし)	Lung Function at 8 Years in Extremely Low Birth Weight (ELBW) Infants: Perinatal Parameters Associated with Impaired Pulmonary Function.	Hirata K. Nishihara M. Tamai K. Shiraishi J. Hirano S. Nakayama M. Yano S. Kanazawa T. Fujimura M. Kitajima H.	201305	Abstracts of Pediatric Academic Societies' 2013 Annual Meeting,	
国際会議 (proceedings なし)	Attention to social cues in extremely low birth children with autism.	Isaki M. Kanazawa T. Hinobayashi T. Kitajima H. Fujimura M. Itoigawa N.	201309	Abstracts for 16th European Conference on Developmental Psychology,	184

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Perinatal complications and psychological outcomes at school age for extremely-low-birthweight children in Japan.	Kanazawa, T. Hinobayashi, T. Hirano, S. Kitajima, H. Fujimura, M. Itoigawa, N.	201309	Abstracts for 16th European Conference on Developmental Psychology	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201403	清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南 徹弘	第 23 回日本発達心理学会学会賞	日本発達心理学会

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 6 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Preschool children's behavioral tendency toward social indirect reciprocity	KATO-SHIMIZU M.*, ONISHI K.*, KANAZAWA T., & HINOBYASHI T. *MK and KO contributed equally to this paper	201308	PLOS ONE	8(8): e70915.
会議報告/口頭発表	心の理論、語彙量、社会関係が 3-4 歳児の仲直り行動に与える影響	大西賢治, 桑岡樹, 金澤忠博, 日野林俊彦	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	1019.
会議報告/口頭発表	ヒト幼児の向社会的行動の交換に観察者の数が与える影響	大西賢治, 清水真由子	201309	霊長類研究	29: 36.
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その 27 - 2011 年 2 月における初潮年齢の動向 -	日野林俊彦, 清水真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生, 南 徹弘	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	1035
会議報告/口頭発表	5・6 歳児の向社会的行動の交換に観察者の数が与える影響	大西賢治, 清水真由子	201312		
解説・総説	「情けは人の為ならず」幼児の日常世界で確認	大西賢治	201311	日本教育新聞	2013 年 11 月 4 日付 5 面
書評	書評「家族進化論」山極寿一著	大西賢治	201306	霊長類研究	29: 24-26

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201403	清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 日野林俊彦, 南 徹弘	第 23 回日本発達心理学会学会賞	日本発達心理学会

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（                        ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 3 件、国際会議 1 件、会議報告 6 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 3 件、書評 0 件、その他（                        ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Activation of efferents from the basolateral amygdala during the retrieval of conditioned taste aversion.	Inui T, Inui-Yamamoto C, Yoshioka Y, Ohzawa I, Shimura T.	201311	Neurobiology of learning and memory	106: 210-220
解説・総説	「味覚」を育てるもの ～好き嫌い いはなぜ起こる？～上 好き 嫌いの成り立ち	志村 剛	201312	週刊教育資料	1277 (12.2) 24-25
解説・総説	「味覚」を育てるもの ～好き嫌 いはなぜ起こる？～下 大人に なると味覚が変わる	志村 剛	201312	週刊教育資料	1278 (12.9) 18-19
解説・総説	味の好き嫌い	志村 剛	201403	日本医師会雑 誌	142 (12) 2612



所属： 行動学系 氏名： 乾 賢

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 1 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Activation of efferents from the basolateral amygdala during the retrieval of conditioned taste aversion.	Inui T, Inui-Yamamoto C, Yoshioka Y, Ohzawa I, Shimura T.	201311	Neurobiology of learning and memory	106: 210-220

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：  
 後期課程 1 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ 0 ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 3 件、国際会議 5 件、会議報告 7 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 0 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	最新 心理学事典 (内田伸子・繁榎算男・杉山憲司((編))「多変量解析・回帰分析・主成分分析・クラスター分析・多次元尺度法」	足立浩平	201312	平凡社	50-51, 138-139, 334-335, 503-505
学術論文	Oblique Rotation in Canonical Correlation Analysis Reformulated as Maximizing the Generalized Coefficient of Determination	Hironori Satomura and Kohei Adachi	201306	Psychometrika	Vol. 78, No. 3, 526-537
学術論文	Generalized joint Procrustes analysis	Kohei Adachi	201311	Computational Statistics	Volume 28, Issue 6, pp 2449-2464
学術論文	A restrained condition number least squares technique with its applications to avoiding rank deficiency	Kohei Adachi	201312	Journal of the Japanese Society of Computational Statistics	Vol. 26, 39-51
会議報告/口頭発表	Generalized canonical correlation analysis reformulated as reduced rank approximation	足立浩平	201305	日本計算機統計学会第 27 回大会講演論文集	pp. 147-150
会議報告/口頭発表	Sparse Orthogonal Factor Analysis	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201306	Electronic Book "Advances in Latent Variables"	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Sparse vs. Simple Structure Loadings	Nickolay T. Trendafilov & Kohei Adachi	201306	Electronic Book “Advances in Latent Variables”	
会議報告/口頭発表	Decomposed Principal Component Analysis for Obtaining Interpretable Solutions	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201309	2013 年度統計関連学会連合大会講演報告集	p. 314
会議報告/口頭発表	Perfect Simple Structure Factor Analysis with Alternating Least Squares Algorithm.	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201309	日本行動計量学会第 41 会大会抄録集	pp. 200-203
会議報告/口頭発表	A Direct Cardinality Constraint Approach to Sparse Principal Components	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201311	日本計算機統計学会第 27 回 7 シンポジウム講演論文集	pp. 165-168
会議報告/口頭発表	高階数近似としての最小二乗因子分析	足立浩平	201402		
会議報告/口頭発表	心理データ解析のための行列分解	足立浩平	201402	数学協働プログラム「人間行動への数理の応用による課題解決」研究集会予稿集	18-21 頁
会議報告/口頭発表	行列分解型の因子分析と主成分分析: 高階数近似と低階数近似	足立浩平	201403		
国際会議 (proceedings あり)	Sparse factor analysis for identifying optimal perfect simple structure	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201308	Joint Meeting of the IASC Satellite Conference and the 8th Asian Regional Section of the IASC	285-290
国際会議 (proceedings なし)	Computational Identification of Optimal Confirmatory Factor Analysis Model Using Sparseness Constraint	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201307	Abstracts, International Meeting Psychometric Society 2013	Pp. 67 - 68
国際会議 (proceedings なし)	A New Sparse PCA procedure via Decomposing PCA Loss Function	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201312	Book of abstract, CFE-ERCIM 2013	p. 163

所属： 行動学系 氏名： 宮本 友介

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 7 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_名、留学生\_\_\_\_名、研究生\_\_\_\_名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書\_\_\_\_件、学術論文 1 件、国際会議\_\_\_\_件、会議報告 1 件、大学等の報告\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_件、その他（ ）

所属： 行動学系 氏名： 熊倉 博雄

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査1件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程1名、前期課程0名、副指導教員：後期課程1名、前期課程3名）、卒業研究指導学生数2名、留学生0名、研究生1名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文2件、国際会議    件、会議報告2件、大学等の報告1件、解説・総説1件、書評0件、その他（                    ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	The estimated mechanical advantage of the prosimian ankle joint musculature, and implications for locomotor adaptation	GOTO Ryosuke, KUMAKURA Hiroo	201305	Journal of Anatomy	222(5): 538-548

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
 後期課程 2 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（                        ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（                        ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	霊長類の樹上運動とヒトの直立二足歩行の進化	中野良彦	201306	日本生理人類学会誌	19 sup.(1): 28-29.
会議報告/口頭発表	What are the causes of the pelvic morphology in primates?	NAKANO, Y.	201312	Anthropological Science	121(3): 245.
会議報告/口頭発表	チンパンジー木登り運動における上肢利用の左右差	中野良彦	201402	霊長類研究	29 巻 suppl. : 160.

所属： 行動学系 氏名： 日暮 泰男

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  0  科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査  0  件、副査  0  件）、修士（主査  0  件、副査  0  件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名、副指導教員：  
後期課程  0  名、前期課程  0  名）、卒業研究指導学生数  0  名、留学生  0  名、  
研究生  0  名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  0  件、学術論文  0  件、国際会議  0  件、会議報告  2  件、  
大学等の報告  0  件、解説・総説  0  件、書評  1  件、その他（ ）

所属： 行動学系 氏名： 中道 正之

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 2 名、副指導教員：  
後期課程 2 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 1 名、  
研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 5 件、国際会議      件、会議報告 8 件、  
大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
学術論文	The effect of solicitations on grooming exchanges among female Japanese macaques at Katsuyama	Ueno, M., Yamada, K., & Nakamichi, M.	201401	Primates	55

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 受賞 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	認知的加齢と新奇な人工物利用:高齢参加者データベースに基づくユーザビリティテスト・データの分析	安達悠子・原田悦子・須藤智・熊田孝恒・藤原健志	201403	認知科学	21(1), 83-99.
会議報告/口頭発表	認知的加齢が人工物利用学習に及ぼす影響	須藤智・原田悦子・田中伸之輔・安達悠子・日根恭子	201306	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集	p.18.
会議報告/口頭発表	情報機器利用に対する態度と加齢—認知機能による個人差を加えての検討—	安達悠子・須藤智・原田悦子	201306	日本認知心理学会第 11 回大会発表論文集	p.114.
会議報告/口頭発表	新奇な機器の操作達成に関わる加齢諸要因—「みんラボ」データベース分析による検討—	安達悠子・原田悦子・須藤智・熊田孝恒	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	p.240.
会議報告/口頭発表	大学生の医療行為に対する認知・理解度, リスク認知, 受容度	安達悠子	201312	平成 25 年度 日本人間工学会関西支部大会講演論文集	pp.49-52.

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201403	安達悠子	日本人間工学会関西支部優秀発表賞	日本人間工学会関西支部

所属： 社会学系 氏名： 友枝 敏雄

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 2 件、副査 6 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 7 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 9 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	グローバル化と社会学	宮島喬, 船橋晴俊, 友枝敏雄, 遠藤薫	201307	ミネルヴァ書房	1 頁-15 頁、163 頁-182 頁
著書	社会理論と社会システム 第 3 版	友枝敏雄, 浜日出夫, 三重野卓	201402	中央法規出版	1 頁-11 頁、13 頁-31 頁
学術論文	社会学の立場から正義を考える	友枝敏雄	201312	適塾	第 46 号

所属： 社会学系 氏名： 稲場 圭信

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 12 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 4 件、副査 6 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 5 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 10 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 4 名、研究生 3 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「宗教者の支援活動調査」稲場圭信・黒崎浩行編著『震災復興と宗教』	稲場圭信	201304	明石書店	179-200
著書	「総説 震災復興に宗教は何ができたのか」稲場圭信・黒崎浩行編著『震災復興と宗教』	稲場圭信	201304	明石書店	20-41
著書	震災復興と宗教	稲場圭信、黒崎浩行	201304	明石書店	
著書	"Fostering civil society organizations for disaster relief in Japan: Challenges and prospects for sustainable future operations", in Minako Sakai, Edwin Jurriens, Jan Zhang and Alec Thornton eds., Disaster Relief in the Asia Pacific: Agency and Resilience	Minako Sakai and Keishin Inaba	201401	Routledge	pp.52-66.
著書	「宗教」社会調査協会編『社会調査事典』	社会調査協会編	201401	丸善	358,359 頁
その他	宗教者災害救援マップの構築過程と今後の課題	黒崎浩行、稲場圭信	201304	宗教と社会貢献	3(1), pp.65-74

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201308	稲場圭信	大阪大学総長奨励賞	大阪大学

所属： 社会学系 氏名： 川端 亮

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 6 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 8 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 2 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	宗教性の測定－国際比較研究を目指して－	横井桃子, 川端亮	201306	宗教と社会	19, 79-95

所属： 社会学系 氏名： 吉川 徹

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：        科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査  1  件、副査  1  件）、修士（主査  1  件、副査  5  件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  3  名、前期課程  1  名、副指導教員：  
後期課程  3  名、前期課程  2  名）、卒業研究指導学生数  7  名、留学生  2  名、  
研究生  2  名、その他（                          ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書        件、学術論文  1  件、国際会議        件、会議報告        件、  
大学等の報告        件、解説・総説  2  件、書評        件、その他（                          ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	環境保護意識・健康維持意識の規定要因の時代変化	狭間諒多朗, 橋爪裕人, 吉川徹	201309	『社会と調査』	Vol. 11, 70-84
解説・総説	平成の四半世紀を読み解く	吉川徹	201306	『ソシオロジ』	Vol. 58, No. 1 pp115-118
解説・総説	SSP プロジェクト	吉川徹	201309	『社会と調査』	Vol. 11, 113-117

所属： 社会学系 氏名： 牟田 和恵

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 3 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 7 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 8 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 7 名）、卒業研究指導学生数 14 名、留学生 3 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 1 件、国際会議      件、会議報告 1 件、大学等の報告      件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	部長、その恋愛はセクハラです！	牟田和恵	201306	集英社	総 220 頁
学術論文	グローバリゼーションとフェミニズムの挑戦	牟田和恵	201307	『グローバリゼーションの社会学』	99-119

所属： 社会学系 氏名： 辻 大介

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 7 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 12 名、副指導教員：後期課程 13 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 20 名、留学生 10 名、研究生 3 名、その他（                        ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（                        ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	ケータイの 2000 年代——成熟するモバイル社会	松田美佐, 土橋臣吾, 辻泉, 石井健一, 辻大介, 小寺敦之, 吉井博明, 浅野智彦, 羽渕一代, 岩田考	201401	東京大学出版会	65-85, 97-101
会議報告/口頭発表	大学生の就職活動における友人関係の効用——5 大学の文系学生を対象とした質問紙調査の結果から	辻大介	201310		

所属： 社会学系 氏名： スコット・ノース

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査      件、副査1件）、修士（主査1件、副査7件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程      名、前期課程5名、副指導教員：  
 後期課程      名、前期課程      名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 2 名、  
 研究生 1 名、その他（学進の外国人 PD 1 名、国際交流基金の外国人特別研究員 1 名）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書      件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 2 件、  
 大学等の報告       件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Limited Regular Employment in Japan: Blurred Lines between Core and Periphery	Scott North	201403		
解説・総説	Reforming "Regular" Employment in Japan: A Target of Abenomics' "Third Arrow"	Scott North	201402	Asia Pacific Memo	#273
書評	Review of: Demographic Change and Inequality in Japan, Sawako Shirahase, ed.	Scott North	201402	Pacific Affairs	vol. 87, 1: 151-153
国際会議 (proceedings なし)	Karoshi, Worker Hopes, and Japan's Cultures of Care	Scott North	201310		

所属： 社会学系 氏名： 山中 浩司

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 11 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査1件、副査    件）、修士（主査2件、副査10件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程4名、前期課程7名、副指導教員：  
後期課程8名、前期課程14名）、卒業研究指導学生数13名、留学生2名、  
研究生1名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文    件、国際会議2件、会議報告2件、  
大学等の報告1件、解説・総説    件、書評    件、その他（                    ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 3 件、副査 3 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 5 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 7 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 4 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 4 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	新・社会福祉士養成講座第 4 巻『現代社会と福祉』第 13 章福祉政策の国際比較.第 1 節欧米の福祉政策	斉藤弥生	201402	中央法規出版株式会社	pp.301-319
著書	スウェーデンにみる高齢者介護の供給と編成	斉藤弥生	201402	大阪大学出版会	
学術論文	スウェーデンの高齢者介護における国と地方の関係②ー市場化と個人化	斉藤弥生	201308	月刊福祉	第 96 巻 9 号, pp92-95
学術論文	スウェーデンの高齢者介護における国と地方の関係③ーサービス選択自由化法とコミュニケーションによる運用	斉藤弥生	201309	月刊福祉	第 96 巻第 10 号, pp.88-91
学術論文	協同組合による医療と介護の可能性	斉藤弥生	201312	農林金融	2013 年 12 月号, 第 66 巻第 12 号(通巻 814 号), pp.17-32
会議報告/口頭発表	日本のサードセクターとしての協同組合ー介護サービス供給体の可能性	斉藤弥生	201305		
会議報告/口頭発表	小地域の福祉ガバナンスに関する研究ーノルウェーにおける地域福祉政策とソーシャルワーク事例を活用しての比較検討	斉藤弥生	201306		
会議報告/口頭発表	介護労働者の実像に関する日本と北欧 4 カ国の国際比較ーホームヘルパー及び施設職員への質問紙調査からー	吉岡洋子	201309		

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	介護労働環境の国際比較研究(1)ー日本・スウェーデン・デンマークのホームヘルパーの裁量に焦点をあててー	斉藤弥生	201309		
会議報告/口頭発表	介護労働環境の国際比較研究(2)ー日本とデンマークの介護労働者の労働負担ー	石黒 暢	201309		
解説・総説	社会的企業の可能性	斉藤弥生	201304	NHK テキスト社会福祉セミナー	2013年4月-7月号, 第26巻, 通巻第86号, pp.62-65.
解説・総説	介護サービス供給の多元化	斉藤弥生	201304	NHK テキスト社会福祉セミナー	2013年4月-7月号, 第26巻通巻第86号, pp.58-61.
解説・総説	ホームヘルプを考える(1)	斉藤弥生	201304	NHK テキスト社会福祉セミナー	2013年4月-7月号, 第26巻通巻第86号, pp.50-53
解説・総説	ホームヘルプを考える(2)	斉藤弥生	201304	NHK テキスト社会福祉セミナー	2013年4月-7月号, 第26巻通巻第86号, pp.54-57



所属： 社会学系 氏名： 竹田 恵子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 1 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文    件、国際会議    件、会議報告 1 件、  
大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（                    ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：  
 後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 5 件、会議報告 1 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	The Extended Mind and the Extended Agent	Nakayama, Yasuo	201311	Procedia Social and Behavioral Sciences	vol. 97, pp. 503-510
会議報告/口頭発表	拡張された行為主体とその心	中山 康雄	201309	日本認知科学会第 30 回大会論文集	CD-ROM 版, pp. 217-220
国際会議 (proceedings あり)	The Extended Mind and the Extended Agent	Nakayama, Yasuo	201308	Abstract Book ICCS 2013	pp. 28-29
国際会議 (proceedings あり)	The Ontological Basis for the Extended Mind Thesis	Nakayama, Yasuo	201308	Mind, Language and Action: Contributions of the Austrian Ludwig Wittgenstein Society	vol. XXI, pp. 282-284
国際会議 (proceedings あり)	Speech Acts, Normative Systems, and Local Information Update	Nakayama, Yasuo	201310	Proceedings of the Tenth International Workshop of Logic and Engineering of Natural Language Semantics 10 (LENLS 10)	pp. 157-170

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Dynamic Normative Logic and Information Update	Nakayama, Yasuo	201310	SOCREAL 2013: 3rd International Workshop on Philosophy and Ethics of Social Reality, Abstracts	pp. 23-27
国際会議 (proceedings なし)	Ontology and Epistemology for Four-dimensional Mereology	Nakayama, Yasuo	201308	Greek Philosophical Society & Fisp (eds.) Abstracts of the 23rd World Congress of Philosophy	CD-ROM 版, pp. 497-498
その他	2013 年度石本賞選考結果報告	中山康雄	201312	科学哲学	46 巻 2 号 pp. 76-79

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 5 件）、修士（主査 1 件、副査 5 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ①研究業績の公表： 著書 4（単著 1, 分担執筆 3）件、学術論文 2 件、国際会議 3 件、会議報告 6 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 4 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	【共著】Une phenomenologie de l'action - en partant des soins du corps immobilise par la sclerose laterale amyotrophique (SLA), in Rencontrer l'imprevisible - a la croisee des phenomenologies contemporaines	Y. Murakami, etc., ed, F. Bastiani, S. Sholokhova,	201304	Argenteuil, Le Cercle Hermeneutique	153-164
著書	【共著】「子供の死における想像上の過去——助産師 Bさんの語りから」『精神医学と哲学の出会い 脳と心の精神病理』	中山剛史・延原幸弘編著	201304	玉川大学出版部	88-101
著書	摘便とお花見 看護の語りの現象学	村上靖彦	201308	医学書院	1-416
著書	【監訳】後期ラカン入門	村上靖彦(監訳)、小倉拓也、塩飽耕規、渋谷亮訳	201309	人文書院	
著書	【共著】顔とその彼方 レヴィナス『全体性と無限』のプリズム	合田正人編	201402	知泉書館	(村上靖彦担当分 pp. 189-212)
学術論文	ローカルでオルタナティブなプラットフォーム 助産師 Eさんと現象学的倫理学	村上靖彦	201307	現代思想	vol.41-11, pp. 152-165
学術論文	L'épochè du futur dans le soin des cancers de l'enfant	yasuhiko murakami	201403	Annales de phenomenologie	vol. 13, pp. 181-210

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Intervention thérapeutique, intervention intellectuelle	Yasuhiko Murakami	201305		
会議報告/口頭発表	主体形成とローカルな制度創設	村上靖彦	201306		
会議報告/口頭発表	「精神看護における「健康」～看護師の語りから」	村上靖彦	201311		
会議報告/口頭発表	精神看護 Aさんの語りから	村上靖彦	201311		
会議報告/口頭発表	『「患者さんが慕ってくださる」～精神看護 Aさんの語りから』	村上靖彦	201401		
会議報告/口頭発表	精神科看護師の語りを通じた現象学的研究	村上靖彦	201402		
会議報告/口頭発表	看護師が経験する死	村上靖彦	201403		
国際会議 (proceedings なし)	Temporalité et spatialité inconscientes de l'action	Yasuhiko Murakami	201305		
国際会議 (proceedings なし)	Le rôle de l' imagination dans le soin des cancers de l'enfant	yasuhiko murakami	201311		
その他	「やっぱり」、「なんか」、「でも」……。語りの「ノイズ」は語る	村上靖彦	201309	図書新聞	3127, pp.1-2
その他	解きほどこかれる看護師の語り	井部俊子、村上靖彦	201310	医学界新聞	3048 (2013.10.21)
その他	普通の人になるために	村上靖彦	201311	群像	2013.12, pp.332-333
その他	現象学の看護論的展開	西村ユミ、村上靖彦	201401	現代思想 2014 1,	vol42-11, 198-213

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201312	村上靖彦	日本学術振興会賞	日本学術振興会



所属： 人間学系 氏名： 中川 敏

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

所属： 人間学系 氏名： 栗本 英世

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 6 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 10 名、留学生 5 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 3 件、会議報告 3 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	平和の人類学	小田博志、関雄二	201403	法律文化社	27-48
解説・総説	深刻な南スーダン紛争、民族間で殺戮、遠のく国民和解	栗本英世	201402	エコノミスト	2014年 2月11日 号

所属： 人間学系 氏名： 森田 敦郎

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 8 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 1 名、副指導教員：  
後期課程 12 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 6 名、留学生 1 名、  
研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 4 件、国際会議 4 件、会議報告 \_\_\_\_\_ 件、  
大学等の報告 \_\_\_\_\_ 件、解説・総説 \_\_\_\_\_ 件、書評 \_\_\_\_\_ 件、その他（ ）

所属： 人間学系 氏名： 白川 千尋

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 8 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ エッセイ 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	「文化人類学・異文化理解」	白川 千尋	201311	日本国際保健医療学会編、『国際保健医療学(第3版)』、杏林書院	

所属： 教育学系 氏名： 藤川 信夫

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 34 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 2 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 8 名、前期課程 5 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、研究生 5 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 1 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
その他	現代の「見やらい」の場としての阿武山学園－「育て直し」「育ち直し」のドラマツルギー	藤川信夫	201402	阿武山のあゆみ	第 4 号

所属： 教育学系 氏名： 西森 年寿

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目  
② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）  
③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
後期課程 14 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 7 名、留学生 4 名、  
研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、  
大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
著書	鈴木真理子・楠見孝・都築章子・鳩野逸生・松下佳代編著『科学リテラシーを育むサイエンス・コミュニケーション』I.4 授業研究ネットワーク・コミュニティを志向した Web ベース「eLESSER」プログラムの開発と評価	鈴木真理子,永田智子,西森年寿,望月俊男,笠井俊信,中原淳	201403	北大路書房	

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：   23   科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査   1   件、副査   2   件）、修士（主査   4   件、副査   0   件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程   6   名、前期課程   6   名、副指導教員：  
後期課程   7   名、前期課程   1   名）、卒業研究指導学生数   6   名、留学生   0   名、  
研究生   0   名、その他（                                ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書   2   件、学術論文   2   件、国際会議   0   件、会議報告   15   件、  
大学等の報告   0   件、解説・総説   0   件、書評   0   件、その他（                                ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	ピア・ラーニング 学びあいの心理学	三宮真智子(中谷素之, 伊藤崇達編著)	201309	金子書房	第10章 メタ認知におけるピアの役割
著書	認知心理学ハンドブック	三宮真智子(日本認知心理学会編)	201312	有斐閣	第9部 12 「メタ認知」
学術論文	女子大学生の困窮事態における言葉かけに対する認知と喚起される感情	山村麻予, 真下知子, 坂香里, 三宮真智子	201403		

所属： 教育学系 氏名： 大谷 和大

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 4 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_名、留学生\_\_\_\_名、研究生\_\_\_\_名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議\_\_\_\_件、会議報告\_\_\_\_件、大学等の報告\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	A multilevel analysis of classroom goal structures' effects on intrinsic motivation and peer modeling: Teachers' promoting interaction as a classroom level mediator.	Ohtani, K., Okada, R., Ito, T., & Nakaya, M.	201308	Psychology	4(8), 629-637.

所属： 教育学系 氏名： 藤岡 淳子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	グッドライフ・モデル:性犯罪からの立ち直りとより良い人生のためのワークブック	藤岡淳子(監訳)	201312	誠信書房	
学術論文	「性非行」に対応する大人たちに知っておいてほしいこと	藤岡淳子	201308	教育と医学	61 巻 8 号 700-708 頁
学術論文	「力」のアディクション～封印された恐れと暴力	藤岡淳子	201403	臨床心理学	第 14 巻 2 号 278-284 頁
解説・総説	児童自立支援施設について思うこと	藤岡淳子	201403	非行問題	第 220 号 4-28 頁

所属： 教育学系 氏名： 野坂 祐子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 3 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 1 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（翻訳書 1 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	フィールド心理学の実践:インターフィールドの冒険	上淵寿, フィールド解釈研究会	201309	新曜社	
著書	グッドライフ・モデル:性犯罪からの立ち直りにより良い人生のためのワークブック	藤岡淳子(監訳)	201312	誠信書房	



(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 26 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 4 件、副査 3 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 8 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 3 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Performance on the Wechsler Adult Intelligence Scale-III in Japanese patients with schizophrenia	Haruo Fujino, Chika Sumiyoshi, Tomiki Sumiyoshi, Yuka Yasuda, Hidenaga Yamamori, Kazutaka Ohi, Michiko Fujimoto, Satomi Umeda-Yano, Arisa Higuchi, Yumiko Hibi, Yukako Matsuura, Ryota Hashimoto, Masatoshi Takeda, Osamu Imura	201403	Psychiatry and Clinical Neuroscience	
会議報告/口頭発表	DMD/BMD 外来患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—PARS を用いて	船越愛絵, 柴田早紀, 岩田優子, 藤野陽生, 前田直子, 齋藤利雄, 松村剛, 井村修	201305		Vol. 45 s253
会議報告/口頭発表	DMD/BMD 患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—SRS を用いて	前田直子, 柴田早紀, 岩田優子, 藤野陽生, 船越愛絵, 齋藤利雄, 松村剛, 井村修	201305	脳と発達	Vol. 45 s253

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Application of Japanese Body-Mind Approach "Dohsa-hou" to a Disabled Child	Imura Osamu, Asghar Dadkhah	201307		
会議報告/口頭発表	筋ジストロフィーにおける発達障害傾向の測定とその課題	井村修, 藤野陽生	201401		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 28 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 3 件、副査 5 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 6 名、副指導教員：  
 後期課程 4 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 3 名、留学生 0 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 3 件、国際会議 0 件、会議報告 7 件、  
 大学等の報告 1 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	教職のための心理学「こどものうつのアセスメント法」	佐々木淳	201304	ナカニシヤ出版	169-170
著書	教職のための心理学「精神病理」	佐々木淳	201304	ナカニシヤ出版	161-169
著書	研究法を学ぶブックガイド. 臨床心理学, 第 13 巻第 3 号.	佐々木淳	201305	金剛出版	380-381
著書	認知行動療法. 日本認知心理学会 (編). 認知心理学ハンドブック.	佐々木淳	201312	有斐閣	394-395
学術論文	The recognized benefits of negative thinking/affect in depression and anxiety: Developing a scale	Sasaki, J., Sakamoto, S., Moriwaki, A., Inoue, K., & Ugajin, K.	201307	Japanese Psychological Research	
学術論文	Understanding Egorrhea from Cultural-Clinical Psychology	Sasaki, J., Wada, K., & Tanno, Y.	201311	Frontiers in Cultural Psychology	
会議報告/口頭発表	大会シンポジウム「神経性過食症患者のパーソナリティ特徴の分類: 自尊感情向上のための介入のアセスメントツール」の話題提供	竹田剛・佐々木淳	201308	日本心理臨床学会第 32 回秋季大会 (パシフィコ横浜) 発表論文集	78
会議報告/口頭発表	大会シンポジウム「試行カウンセリングにおける洞察体験プロセスに関する研究」の話題提供	佐々木恵太郎・佐々木淳	201308	日本心理臨床学会第 32 回秋季大会 (パシフィコ横浜) 発表論文集	83

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	大会シンポジウム「ひとり行動」状況での心理的苦痛についての研究(1): ひとりで行動するときの苦痛はどのように緩和されてゆくのか」の話題提供	片岡泉・佐々木淳	201308	日本心理臨床学会第32回秋季大会(パシフィコ横浜)発表論文集	44
会議報告/口頭発表	「ひとり行動」状況での心理的苦痛についての研究(2): 社会不安及び愛着関係との関連からの検討	片岡泉・佐々木淳	201309	日本心理学会第77回大会(北海道医療大学)発表論文集	433
会議報告/口頭発表	公募シンポジウム「アナログ研究の新展開」の企画	守谷順・飯島雄大・佐々木淳	201309	日本心理学会第77回大会(北海道医療大学)発表論文集	SS51
会議報告/口頭発表	神経性過食症患者の自己概念と重要性に対する包括的参照枠の検討	竹田剛・佐々木淳	201310	日本パーソナリティ心理学会第22回大会(江戸川大学)発表論文集	

所属： 教育学系 氏名： 野村 晴夫

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査 1 件、副査 9 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程      名、前期課程 11 名）、卒業研究指導学生数      名、留学生      名、研究生      名、その他（      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	発達心理学事典項目「ライフレビュー」	日本発達心理学会	201305	丸善出版	22-23

所属： 教育学系 氏名： 上條 史絵

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： \_\_\_\_\_ 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程\_\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_\_名、留学生\_\_\_\_\_名、研究生\_\_\_\_\_名、その他（ \_\_\_\_\_ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書\_\_\_\_\_件、学術論文\_\_\_\_\_件、国際会議\_\_\_\_\_件、会議報告 2 件、大学等の報告\_\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_\_件、その他（ \_\_\_\_\_ ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  2  科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査  0  件、副査  0  件）、修士（主査  0  件、副査  0  件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名、副指導教員：後期課程  0  名、前期課程  0  名）、卒業研究指導学生数  0  名、留学生  0  名、研究生  0  名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  0  件、学術論文  3  件、国際会議  0  件、会議報告  9  件、大学等の報告  0  件、解説・総説  0  件、書評  0  件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Subjective experience of Dohsa-hou relaxation: a qualitative study	Fujino H	201304	Asia Pacific Journal of Counselling and Psychotherapy	4(1), 66-75
学術論文	Performance on the Wechsler Adult Intelligence Scale-Third Edition in Japanese patients with schizophrenia	Fujino H, Sumiyoshi C, Sumiyoshi T, Yasuda Y, Yamamori H, Ohi K, Fujimoto M, Umeda-Yano S, Higuchi A, Hibi Y, Matsuura Y, Hashimoto R, Takeda M, Imura O.	201401	Psychiatry and Clinical Neurosciences	published online
会議報告/口頭発表	DMD/BMD 外来患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—PARS を用いて	船越愛絵・柴田早紀・岩田優子・藤野陽生・前田直子・齊藤利雄・松村 剛・井村修	201305	第 55 回日本小児神経学会学術集会, 大分	
会議報告/口頭発表	DMD/BMD 外来患者の広汎性発達障害傾向に関する調査研究—SRS を用いて	前田直子・柴田早紀・岩田優子・藤野陽生・船越愛絵・齊藤利雄・松村 剛・井村修	201305	第 55 回日本小児神経学会学術集会, 大分	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	DMD/BMD 入院患者の発達障害傾向に関する看護師評価	柴田早紀・岩田優子・藤野陽生・船越愛絵・前田直子・齊藤利雄・松村剛・井村修	201305	第55回日本小児神経学会学術集会, 大分	
会議報告/口頭発表	筋ジストロフィー患者における発達障害傾向とQOL	井村修・柴田早紀・岩田優子・前田直子・藤野陽生・船越愛絵	201308	日本心理臨床学会第32回秋季大会, 横浜, 自主シンポジウム	
会議報告/口頭発表	病を抱える患児と家族の求めに対する医師の思い	藤野陽生	201308	日本心理臨床学会第32回秋季大会, 横浜	
会議報告/口頭発表	ジストロフィン異常症の広汎性発達障害に関する検討	齊藤利雄・井村修・柴田早紀・岩田優子・藤野陽生・船越愛絵・前田直子・松村剛・藤村晴俊	201311	日本人類遺伝学会第58回大会, 宮城, P136	
会議報告/口頭発表	筋ジストロフィー患者の価値の転換の過程について—SEIQoL-DWを用いて	船越愛絵・藤野陽生・前田直子・松井美也子・上野絃子・阪上由衣・松村剛・小基隆義・中村辰江・大野真紀子・久保田千恵・吉川満典・奥野信也・井村修・齊藤利雄・藤村晴俊	201311	筋ジストロフィー診療における医療の質の向上のための多職種協働研究班平成24年度班会議, 東京	
会議報告/口頭発表	筋ジストロフィー児童における社会的認知に関する研究	松井美也子・藤野陽生・前田直子・船越愛絵・上野絃子・阪上由衣・松村剛・小基隆義・中村辰江・大野真紀子・久保田千恵・吉川満典・奥野信也・井村修・齊藤利雄・藤村晴俊	201311	筋ジストロフィー診療における医療の質の向上のための多職種協働研究班平成24年度班会議, 東京	

分類(著書 ・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 /掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭 発表	筋ジストロフィーにおける発達 障害傾向の測定とその課題.	井村 修・藤野 陽生	201401	第2回 Dystrophinopathy の CNS 障害研究 会, 東京	

所属： 教育学系 氏名： 近藤 博之

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名、副指導教員：  
後期課程 0 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 1 名、  
研究生 1 名、その他（  
）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、  
大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（  
）

所属： 教育学系 氏名： 中澤 渉

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
 後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 1 名、  
 研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 0 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「教育機会の不平等と教育選択の責任の所在」 渡辺秀樹・竹ノ下弘久編、『越境する家族社会学』	中澤 渉	201402	学文社	56-70
学術論文	通塾が進路選択に及ぼす因果効果の異質性—傾向スコア・マッチングの応用	中澤 渉	201307	教育社会学研究	92: 151-174
解説・総説	教育データを解釈する—教育社会学における計量分析	中澤 渉	201401	生産と技術	66(1): 75-77
国際会議 (proceedings あり)	Educational Systems and Job Career Histories: A Comparison between Japan and Taiwan	NAKAZAWA Wataru	201307		
国際会議 (proceedings なし)	The Support Structure for Public Expenditure on Education in Japan: A Comparative Perspective	Wataru NAKAZAWA	201306		

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201308	中澤 渉	大阪大学総長奨励賞(研究部門)	大阪大学

所属： 教育学系 氏名： 小野田 正利

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
後期課程 0 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 10 名、留学生 1 名、  
研究生 0 名、その他（                                      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 約 70 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、  
大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（書籍の序文 3）

所属： 教育学系 氏名： 園山 大祐

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数 12 名、留学生 1 名、研究生    名、その他（3 回生 5 名）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告      件、大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（    ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	統合ヨーロッパの市民性教育	園山大祐	201310	名古屋大学出版会	20-40、178-194
学術論文	Les eleves etrangers au Japon	Hommes & Migrations	201306	Hommes & migrations	no.1302
解説・総説	フランスにおける外国人の子どもの教育の現状と課題	園山大祐	201304	移住労働者と連帯する全国ネットワーク情報誌	no.158

所属： 教育学系 氏名： 平沢 安政

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：  6  科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査  2  件、副査  1  件）、修士（主査  2  件、副査  6  件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程  2  名、前期課程  2  名、副指導教員：後期課程  2  名、前期課程  12  名）、卒業研究指導学生数  2  名、留学生  1  名、研究生  0  名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書  1  件、学術論文  1  件、国際会議  0  件、会議報告  0  件、大学等の報告  0  件、解説・総説  2  件、書評  0  件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	人権教育総合年表	平沢安政他	201309	明石書店	9 頁-43 頁
学術論文	人権の視点に立った道德教育の推進 — 国際的な市民性教育の文脈のなかで	平沢安政	201307	部落解放研究	No.198 4 頁~14 頁
学術論文	多文化共生の意義と課題	平沢安政	201311	はらっぱ	No.345

所属： 教育学系 氏名： 木村 涼子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数 5 名、留学生 2 名、研究生 3 名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書      件、学術論文      件、国際会議      件、会議報告      件、大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（                    ）

所属：教育学系 氏名：木村 和美

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：4 科目
- ② 学位論文審査：博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数：大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表：著書    件、学術論文    件、国際会議    件、会議報告    件、  
大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（                ）

所属： 教育学系 氏名： 志水 宏吉

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査1件、副査1件）、修士（主査6件、副査0件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程11名、前期課程15名、副指導教員：後期課程4名、前期課程2名）、卒業研究指導学生数8名、留学生2名、研究生2名、その他（長期研修生 2名）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書2件、学術論文3件、国際会議0件、会議報告8件、大学等の報告1件、解説・総説0件、書評0件、その他（        ）

所属： 教育学系 氏名： 高田 一宏

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査8件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程1名、副指導教員：  
後期課程9名、前期課程14名）、卒業研究指導学生数7名、留学生1名、  
研究生1名、その他（OUSSEP 自主研究 1）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文2件、国際会議    件、会議報告2件、  
大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（調査報告書 1）

(3) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
学術論文	同和地区児童生徒の学力と進路—特別措置終結後の変化に焦点をあてて	高田一宏	201304		

所属： 教育学系 氏名： 伊佐 夏実

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文 1 件、国際会議    件、会議報告 1 件、  
大学等の報告 1 件、解説・総説    件、書評    件、その他（                    ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 3 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 10 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 10 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 3 名、前期課程 10 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 2 名、研究生 2 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 5 件、国際会議 3 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 3 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Can Japan Contribute to the Post Millennium Development Goals? Making Human Security Mainstream through the TICAD Process	Takahashi K, Kobayashi J, Nomura-Baba M, Kakimoto K, Nakamura Y	201310	Trop Med Health	41(3): 135-42
学術論文	Infection surveillance after a natural disaster: lessons learnt from the Great East Japan Earthquake of 2011	Osuke Iwata, Tomoharu Oki, Aiko Ishiki, Masaaki Shimanuki, Toru Fuchimukai, Toru Chosa, Shoichi Chida, Yasuhide Nakamura, Hiroji Shima, Michihiro Kanno, Toyojiro Matsuishi, Mikihiro Ishiki, Daisaku Urabe	201310	Bull World Health Organ	41(3): 135-42
学術論文	インドネシアとラオスの帰国研修員による自国での成果活用に寄与する要因	下村真貴子, 中村安秀	201311	国際保健医療	28(4): 293-303
学術論文	The professionalization of medical interpreting in the United States – the perspective of early pioneers	Takesako Kazumi, Nakamura Yasuhide	201312	Journal of International Health	28(4): 279-286
解説・総説	グローバル世界の思春期プロダクティブヘルス	中村安秀	201306	思春期学	31(3): 300-304

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	国境を越える小児保健医療—文化とことばの壁を越えて	中村安秀	201306	小児科診療	76(6): 889-894
解説・総説	世界の母子健康手帳	中村安秀	201312	チャイルドヘルス	16(12): 856-859

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 9 件、副査 3 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 14 名、副指導教員：  
 後期課程 6 名、前期課程 5 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 12 名、  
 研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 4 件、国際会議 1 件、会議報告 7 件、  
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（フォーラム報告他 2 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	世界の学校—教育制度から日常の学校風景まで—(新版) (第 17 章 ケニア—マサイの人々も学ぶ草原の学校—)	澤村信英(二宮皓編)	201401	学事出版	182-189 頁
学術論文	ケニアの小学校における友人関係形成の役割—社会・文化的な背景から読み解く—	十田麻衣・澤村信英	201306	国際開発研究	22 巻・1 号・23-38 頁
学術論文	ケニアの学校におけるいじめと体罰	澤村信英	201307	比較教育学研究	47 号・63-75 頁
学術論文	シリア難民による学校運営と NGO の支援活動—トルコ・ハタイ県の事例—	山本香・景平義文・澤村信英	201310	国際教育協力論集	16 巻・1 号・45-60 頁
学術論文	ケニアにおけるマサイ女子生徒の学習動機—小学校教師の役割に着目して—	野村理絵、澤村信英	201310	国際教育協力論集	16 巻・1 号・1-15 頁
会議報告/口頭発表	シリア難民による学校運営と NGO の支援活動—トルコ・ハタイ県の事例—	山本香、澤村信英	201304		
会議報告/口頭発表	南スーダンの初等教育の現状と展望	澤村信英	201304		
会議報告/口頭発表	マサイ女性にとっての小学校教育の意味—ケニア・ナロック県の調査から—	澤村信英	201305		
会議報告/口頭発表	南スーダンの初等教育政策と学校運営—ジュバ市内小学校の事例—	澤村信英	201306		
会議報告/口頭発表	南スーダンの教育統計と学校現場の現実—政府雇用教師とボランティア教師の勤務実態を中心に—	澤村信英	201310		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	南スーダン紛争後の学校運営と教師集団のリアリティー・ジュバ市内小学校の事例を中心にー	澤村信英・山本香	201312		
会議報告/口頭発表	VSO (Voluntary Service Overseas) の組織とボランティア派遣制度の特徴	澤村信英	201403		
解説・総説	「アフリカ子ども学」フォーラム: フランコフォン・アフリカの学校教育と「伝統」教育	竹ノ下祐二・亀井伸孝・阿毛香絵・清水貴夫・澤村信英	201312	アフリカ研究	83号、37-51頁
国際会議 (proceedingsあり)	The Long-term Effect of Primary School Attendance on Maasai Women in Kenya	Nobuhide Sawamura and Calvin de los Reyes	201309		
その他	エッセイ 未来共生社会と国際協力新時代	澤村信英	201403	未来共生学	1号、3-6頁

所属： グローバル人間学系 氏名： 神前 進一

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査      件）、修士（主査 2 件、副査      件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：  
後期課程      名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 6 名、留学生      名、  
研究生      名、その他（      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書      件、学術論文      件、国際会議      件、会議報告      件、  
大学等の報告 1 件、解説・総説      件、書評      件、その他（      ）

所属： グローバル人間学系 氏名： 千葉 泉

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査      件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 1 名、副指導教員：  
後期課程      名、前期課程 3 名）、卒業研究指導学生数      名、留学生      名、  
研究生      名、その他（                      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文      件、国際会議      件、会議報告      件、  
大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（                      ）

(3) 受賞・特許・作品、他

発表年月	製作者名	作品名	発表場所
201311	Izumi Chiba	ラテンの風(CD)	いちなん

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 5 名、副指導教員：  
 後期課程      名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 3 名、  
 研究生      名、その他（      ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 4 件、国際会議      件、会議報告 1 件、  
 大学等の報告      件、解説・総説 1 件、書評      件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	日米軍事同盟が生み出した性売買をどう考えるのか	藤目ゆき	201308	αシノドス	vol.130+131
学術論文	모니카 펠튼과 국제여성민주연맹(WIDF) 한국전쟁 진상조사단 (モニカ・フェルトンと国際民主女性連盟(WIDF)朝鮮戦争真相調査団)	藤目ゆき	201312	사회와 역사 (社会と歴史)	通卷 第100号 2013年冬 279-322頁
会議報告/口頭発表	広島湾地域の軍事化と性暴力	藤目ゆき	201306	日本平和学会 2013年度春季 研究大会	
解説・総説	「知識の木」を植え育てる:元インド警察職・社会事業家 N.クリシュナスワミ	N.クリシュナスワミ(原著者).池田高巖(翻訳).藤目ゆき(編集・翻訳・解説)	201310	アジア現代女性研究会	279-324

所属： グローバル人間学系 氏名： 小林 清治

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査 2 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程 3 名、副指導教員：  
後期課程 5 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文    件、国際会議    件、会議報告    件、  
大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（                    ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 5 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 1 名、留学生 2 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 6 件、学術論文 8 件、国際会議 2 件、会議報告 10 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	『グローバル化と人間環境』	小林清治・三好恵真子	201306	大阪大学出版会	
著書	『都市鉱山からの鉄鋼用レアメタルの回収技術の開発とシステム化の研究』	山本高郁, 姉崎正治, 三好恵真子	201401	(公財)鉄鋼環境基金 2012 年度助成研究成果報告	
著書	「食品问题的复杂性与鲁曼的风险概念的适用性」『東アジアリスク社会—発展・共識・危機（日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」①）』	三好恵真子(大阪大学中国文化フォーラム(編))	201402	OUFC Booklet Vol.2	
著書	「食を巡る問題の複雑性とルーマンのリスク概念の適用」『東アジアリスク社会—発展・共識・危機（日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」①）』	三好恵真子(大阪大学中国文化フォーラム(編))	201402	OUFC Booklet Vol.2	
著書	「社会系统中的安全、放心、信頼—论围绕风险社会与中国食品之间的结构性课题」『東アジアリスク社会—発展・共識・危機（日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」①）』	三好恵真子(大阪大学中国文化フォーラム(編))	201402	OUFC Booklet Vol.2	
著書	「社会システムにおける安全・安心・信頼—リスク社会と中国の食を巡る構造的課題」『東アジアリスク社会—発展・共識・危機（日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」①）』	三好恵真子(大阪大学中国文化フォーラム(編))	201402	OUFC Booklet Vol.2	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「如何认识中国的环境问题—为人类的安全保障与可持续发展学的实践性展开—」『中国革命・社会変容と世界—贛州会議中国語論文選(日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」③)』	三好恵真子(大阪大学中国文化フォーラム(編))	201403	OUFC Booklet Vol.4	
学術論文	幼稚園児の栄養状態と生活習慣:ベトナムの主要都市と地方都市の比較から—子どもの生活習慣及び食習慣と肥満に関する調査—	由本優子, 三好恵真子	201304	生活学論叢	第23号, i17-28
学術論文	使用済携帯電話からレアメタル回収技術開発と実践への展望—先人の知恵の結晶を未来に活かす挑戦—	三好恵真子, 姉崎正治	201306	New Food Industry	Vol.55, 46-58
学術論文	社会系统中的安全、放心、信頼—论围绕风险社会与中国食品之间的结构性课题	三好恵真子(金娜延、王子芸译, 许卫东监制)	201308	第七回「現代中国と東アジアの新環境:発展・共識・危機」国際学術シンポジウム」論文集(大阪大学中国文化フォーラム編)	
学術論文	社会システムにおける安全・安心・信頼—リスク社会と中国の食を巡る構造的課題群—	三好恵真子	201308	第七回「現代中国と東アジアの新環境:発展・共識・危機」国際学術シンポジウム」論文集	28-41
学術論文	ベトナムにおける栄養不良の二重負荷に伴う子どもの肥満の現状と課題—グローバル化の進展による生活環境の変化がもたらす影響—	三好恵真子, 由本優子	201309	New Food Industry, Vol.55, No.9, 31-48	
学術論文	高速回転ミルによる使用済携帯電話の破碎と貴金属成分の濃集現象	姉崎正治, 山本高郁, 三好恵真子	201403	廃棄物資源循環学会誌	No.25, in press
学術論文	脈波におけるカオス解析の技術開発と展望—中国における心理問題への対処法としての応用開発の可能性	胡毓瑜, 三好恵真子	201403	大阪大学人間科学紀要	第40号, 27-46
学術論文	通过脉波来解析抑郁症患者的心理特征	林娟, 胡毓瑜, 雄山眞弓, 三好恵真子	201403	应用心理学	印刷中

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	社会システムにおける安全・安心・信頼—食を巡る問題を事例として—	三好恵真子	201306	府大環境デー・シンポジウム	
会議報告/口頭発表	ヨルダンにおけるパレスチナ系住民とBaladiの存在—パレスチナ・アイデンティティの形成過程とその要因—	富田真未, 三好恵真子	201306	日本生活学会第40回大会	
会議報告/口頭発表	離島における新エネルギー普及の可能性について	松村悠子, 三好恵真子	201306	日本生活学会第40回大会	
会議報告/口頭発表	熱泥噴出に立ち向かう地域コミュニティのゆらぎと再構築—インドネシア東ジャワ州シドアルジョ県ルーシー泥火山を対象とした災害研究—	内藤咲希, 三好恵真子	201306	日本生活学会第40回大会	
会議報告/口頭発表	甘粛省蘭州市から考察する中国の複合的大気汚染の課題と今後の展望	潘鈺林, 姉崎正治, 三好恵真子	201306	日本生活学会第40回大会	
会議報告/口頭発表	離島地域の新エネルギー導入による地域社会への影響と課題	松村悠子, 三好恵真子	201309	環境科学会2013年会	
会議報告/口頭発表	脳波と脈波のカオス情報の可視化と両者の関係性に関する研究	胡毓瑜, 林娟, 雄山真弓, 三好恵真子	201309	第61回レオロジー討論会	
会議報告/口頭発表	中国の複合的大気汚染の課題と今後の展望—蘭州市を事例とした再評価からの検討—	潘鈺林, 姉崎正治, 三好恵真子	201310	日本現代中国学会第63回全国学術大会	
会議報告/口頭発表	浙江省舟山新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望	胡毓瑜, 三好恵真子	201310	日本現代中国学会第63回全国学術大会	
国際会議 (proceedingsあり)	Safety, Perception of Risk, and Social Trust in Social System: The China Path to Global Food Safety in a Risk Society	Miyoshi, E.	201308	The Seventh International Symposium: Social Change of Contemporary China and New Challenge of East Asia	
国際会議 (proceedingsあり)	Cause Investigation of Collapse of Caricari Dam from the Perspective of the Silver Smelting Technology in Colonial Peru	Anezaki, S. and Miyoshi, E.	201309	The Eighth International Conference on the Beginnings of the Use of Metals and Alloys	

分類(著書・学术论文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
その他	食育ヤングリーダー支援助成事業「下宿生の野菜生活改善・充実に向けたサポート計画『ベジタブル☆フェスタ』」-大学における食育実践・リーダー育成の試み-	三好恵真子	201312	高校・大学生の生活習慣病予防対策事業 平成 25 年度北ブロック健康教育指導研修会	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201309	松村悠子(三好恵真子)	環境科学会 2013 年会優秀発表賞(富士電機賞)「離島地域の新エネルギー導入による地域社会への影響と課題」	公益社団法人 環境科学学会

所属： グローバル人間学系 氏名： 河森 正人

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 6 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 6 名）、卒業研究指導学生数 4 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	「タイ農村部における高齢者の生活保障」	河森正人	201403	『東アジアの雇用・生活保障と新たな社会リスクへの対応』	123-140
会議報告/口頭発表	「タイの高齢者医療と介護－何が達成されたのか、何が課題となるのか」	河森正人	201306	『2013 年度アジア政経学会全国大会報告集』	
会議報告/口頭発表	「タイの高齢者－誰が支えるのか、どう支えるのか」	河森正人	201307		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	総覧東欧ロシア史学史	ニーデルハウゼン・エミル, 渡邊昭子, 家田修他	201308	北海道大学出版会	
国際会議 (proceedings なし)	A magyar középkorral kapcsolatos japán történelmi kutatásokról (különös tekintettel a tatárjárásra és annak hatására)	Suzuki Hirokazu	201308		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査1件、副査1件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程2名、前期課程1名、副指導教員：後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数1名、留学生5名、研究生3名、その他（ 外国人招へい研究員（研究大学強化促進事業 ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文    件、国際会議    件、会議報告    件、大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（    ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「カザフスタンの医療・保健・福祉」『カザフスタンを知るための60章』藤本透子・宇山智彦(編集)	大谷順子	201309	明石書店	
著書	「質的評価および混合研究法」第2部第5章『国際保健医療学』第3版 日本国際保健医療学会(編)	大谷順子	201310	杏林書院	55-60
著書	"Human Security and Natural Disasters: Applying Human Security's Nine Scopes to the 2011 Great East Japan Earthquake"『震災科研英文報告書』浅川達人・青柳みどり・吉野英岐 編	Junko Otani	201403	「震災情報連絡会」科研報告書	
学術論文	「四川汶川大地震・四川芦山地震の震災復興における中国災害 NGO の役割—こころのケアを行う草の根 NGO の活動を事例として—」	張玉梅・大谷順子	201403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第 40 号 47-70 頁
学術論文	「ニュージーランド国カンタベリー地震の社会的影響に関する—考察—特に教育セクターを対象として—」	大谷順子	201403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第 40 号 1-26 頁
学術論文	「中国新疆におけるウイグル族の学校選択」	リズワン・アブリミティ(热孜万・阿布里米提)・大谷 順子	201403	『21世紀東アジア社会学』日中社会学会	第 6 号 156-171 頁
会議報告/口頭発表	Comparative case study of evolution of post-earthquake NGOs in Japan and P.R. China	Junko Otani	201307		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	「ニュージーランド国カンタベリー地震被災地の生活復興に関する一考察 ―住宅と保険に注目して―」	大谷順子	201310	日本災害復興学会 2013 大阪大会講演論文集	2013: 20-23
解説・総説	「混合研究法の国際的動向」	大谷順子	201309	『社会と調査』社会調査協会	第 11 号 12-21 頁
国際会議 (proceedings あり)	Evolution of post-earthquake NGOs in P.R.China - Case study of the 2008 Wenchuan Earthquake in Sichuan, P.R. China	Zhang, Yumei & Otani, Junko	201310	Proceedings of The 9th APRU (Asia Pacific Rim University) Research Symposium on multi-hazards around the Pacific Rim	126-127
国際会議 (proceedings あり)	Human Security and Natural Disasters: Applying Human Security's Nine scopes to post-earthquake communities	Junko Otani	201310	Proceedings of The 9th APRU (Asia Pacific Rim University) Research Symposium on multi-hazards around the Pacific Rim	61-62
国際会議 (proceedings あり)	「中国四川大地震による中国の社会変容に関する考察 ― 2008 年汶川地震と 2013 年雅安地震」(学会優秀ポスター発表受賞)	大谷順子・張玉梅	201311	国際開発学会 第 24 回全国大会発表要旨集	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201311	大谷順子, 張玉梅	国際開発学会第 24 回全国大会 優秀ポスター発表賞	国際開発学会

所属：グローバル人間学系 氏名：ズグスタ・リチャード

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 6 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程 1 名、前期課程 1 名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                                ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文    件、国際会議    件、会議報告    件、  
大学等の報告    件、解説・総説    件、書評    件、その他（                        ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程1名、副指導教員：  
 後期課程1名、前期課程3名）、卒業研究指導学生数1名、留学生    名、  
 研究生    名、その他（    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書    件、学術論文1件、国際会議1件、会議報告3件、  
 大学等の報告    件、解説・総説    件、書評1件、その他（辞典1件(編集委員)）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	岩波人名事典 東南アジア篇	桃木至朗、深見純生、福岡まどか、他	201401	岩波書店	
著書	性を超えるダンサー ディディ・ニニ・トウオ	福岡まどか	201402	めこん	
学術論文	Cross gender attempts by Indonesian female-impersonator dancer Didik Nini Thowok.	Madoka FUKUOKA	201403	Wacana Seni Journal of Arts Discourse	vol. 14
学術論文	伝統芸能を次世代に伝え遺すーインドネシアにおける NGO 団体の取り組みから	福岡まどか	201403	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第 40 巻
国際会議 (proceedings あり)	Didik Nini Thowok: a cross-gender and female-impersonator dancer based in Java- Considering the construction of identity.	Madoka FUKUOKA	201311	CCIS International Conference on Chinese Indonesians- Their lives and identities.	



所属： グローバル人間学系 氏名： 田沼 幸子

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 4 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（                    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文      件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、  
大学等の報告      件、解説・総説 1 件、書評      件、その他（                    ）

(3) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
著書	革命キューバの民族誌:非常な 日常を生きる人びと	田沼幸子	201402	人文書院	

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 3 名、前期課程 4 名）、卒業研究指導学生数 2 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 3 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	The effect of solicitations on grooming exchanges among female Japanese macaques in Katsuyama.	M. UENO, K. YAMADA, & M. NAKAMICH	201401	Primates	55: 81-87
会議報告/口頭発表	嵐山ニホンザル E 集団のパーソナリティ評定	片山洗彰・山田一憲・中道正之	201306		
会議報告/口頭発表	王子動物園のアビシニアコロブスにおける Infant handling について	大井裕典・山田一憲・中道正之	201306		
会議報告/口頭発表	餌付け集団におけるニホンザルのコンタクトコール使用と反応の発達	勝野吏子・山田一憲・中道正之	201306		
会議報告/口頭発表	嵐山 E 集団におけるニホンザルの行動の符号化と人によるパーソナリティ評定の比較	片山洗彰・山田一憲・中道正之	201309	動物心理学研究	63: 157
会議報告/口頭発表	王子動物園のアビシニアコロブスにおける Infant handling と毛づくろいの関連	片山洗彰・山田一憲・中道正之	201309	霊長類研究	29 (supplement): D3-5
会議報告/口頭発表	王子動物園のアビシニアコロブス(Colobus guereza) 集団における母親の出産間隔が子の社会関係に与える影響	大井裕典・山田一憲・中道正之	201309	動物心理学研究	63: 175
会議報告/口頭発表	王子動物園のアビシニアコロブスにおける Infant handling と毛づくろいの関連	大井裕典・山田一憲・中道正之	201309	霊長類研究	29 (supplement): 112
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける親和的意図を伝達する音声行動の習得	勝野吏子・山田一憲・中道正之	201309	日本心理学会第 77 回大会発表論文集	2PM-057

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける親和的な音声を用いる文脈とその反応に関する発達	勝野 史子・山田一憲・中道正之	201309	動物心理学研究	63: 178
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける親和的意図を伝えるコンタクトコールの使用とその反応の発達	勝野 史子・山田一憲・中道正之	201309	霊長類研究	29 (supplement): 105
会議報告/口頭発表	ニホンザルメスのサル団子形成における毛づくろいの役割	上野将敬・山田一憲・中道正之	201309	日本心理学会第77回大会発表論文集	928
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおけるハドル形成のための毛づくろい使用	上野将敬・山田一憲・中道正之	201309	動物心理学研究	63: 176
会議報告/口頭発表	勝山ニホンザル集団のハドル形成における毛づくろいの役割	上野将敬・山田一憲・中道正之	201309	霊長類研究	29 (supplement): 106
会議報告/口頭発表	王子動物園のカバにおける採食行動の変化と遊び	金智娟・中道正之・山田一憲	201311	大会プログラム	37
会議報告/口頭発表	飼育アビシニアコロブス集団における未成年体個体の発達変化	河野穂夏・中道正之・山田一憲	201311	大会プログラム	41
会議報告/口頭発表	天王寺動物園のフクロテナガザル集団の育児における父、母、年長のきょうだいの役割	喜多田廉平・中道正之・山田一憲	201311	大会プログラム	38
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおけるコンタクトコールを用いた社会交渉の発達	勝野 史子・山田一憲・中道正之	201311	日本動物行動学会第32回大会要旨集	68
会議報告/口頭発表	子の発達とメスの妊娠が飼育アビシニアコロブス集団の社会交渉に及ぼす影響	河野穂夏・山田一憲・中道正之	201403		

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201402	山田一憲	大阪大学総長による表彰	大阪大学総長 平野俊夫

所属： 国際交流室 氏名： 上田 博司

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_名、留学生\_\_\_\_名、研究生\_\_\_\_名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書\_\_\_\_件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告\_\_\_\_件、大学等の報告\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_件、その他（ ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：  
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 1 名、  
 研究生 0 名、その他（2 independent study students, support for 3 research students）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 3 件、会議報告 1 件、  
 大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（      ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	Laughter and turn-taking: Warranting next speakership in multiparty interaction. In P. Glenn and L. Holt (Eds.), Studies of Laughter in Interaction.	Keiko Ikeda, Don Bysouth	201307	Continuum	
著書	Japanese and English as lingua francas: Language choices for international students in contemporary Japan. In H. Haberland, D. Lonsmann, and B. Preisler (Eds.), Language Alternation, Language Choice and Language Encounter in International Education.	Keiko Ikeda, Don Bysouth	201310	Springer	
会議報告/口頭発表	Interaction in the ICT-enhanced ecology: A case study of Japanese as a second language classroom.	Keiko Ikeda, Adam Brandt, Don Bysouth	201304	Thinking, doing, learning: Usage based perspectives on second language learning. Odense, Denmark.	
会議報告/口頭発表	Sequential task constraints and affordances in computer mediated video interactions.	Don Bysouth	201403	Conversation analysis workshop. Kansai University.	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	インフォーマル学習」を捉える —媒介物(メディア)と、空間と、 相互行為に着目して—	Keiko Ikeda, Iwasaki Chiaki, Don Bysouth	201403	日本語を母語 あるいは第二 言語とする者 による相互行 為に関する総 合的研究第5 回研究発表 会	
会議報告/口頭発表	Online means audience: Turning the students' perspectives outward to the world.	Keiko Ikeda, Don Bysouth	201403	Reimagining education: Can collaborative online international learning be normalized. 6th annual COIL conference, SUNY, New York,	

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査    件、副査    件）、修士（主査    件、副査    件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程    名、前期課程    名、副指導教員：  
後期課程    名、前期課程    名）、卒業研究指導学生数    名、留学生    名、  
研究生    名、その他（    ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 3 件、国際会議 3 件、会議報告      件、  
大学等の報告      件、解説・総説      件、書評      件、その他（    ）

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 7 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_名、留学生 9 名、研究生\_\_\_\_名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 3 件、国際会議\_\_\_\_件、会議報告\_\_\_\_件、大学等の報告\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_件、その他（論文査読 3 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
その他	Gender, Identity and Asian Popular Culture, Edited by A. Zalipour and R.S. Hashim, Depiction of gender stereotypes in Japanese comic strips on Father's Day and Mother's Day: A 55-year analysis	安元 佐織	201304	Gender, Identity and Asian Popular Culture	
その他	Handbook of Family Policies Across the Globe, Edited by A. Zalipour and R.S. Hashim, Policy responses to population declining society: Development and challenges of family policies in Japan	佐野 嘉栄、安元 佐織	201305	Handbook of Family Policies Across the Globe	

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、卒業研究指導学生数 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（Independent Study 副指導 学部生 1 名）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 1 件、会議報告 0 件、大学等の報告 2 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（事典・辞典の訳 1 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Female Gender Construction and the Idea of Marriage Migration: Women from Former Soviet Union Countries Married to Japanese Men	Kim, Viktoriya	201304	Working Paper Series: Studies on Multicultural Societies No.20, Afrasian Research Centre (Phase 2), Ryukoku University	
学術論文	Gender Politics and Its Impact on Female Marriage Migration: Women from Former Soviet Union Countries in Japan	Kim, Viktoriya	201403	Japan Social Innovation Journal	Vol. 4, No. 1
国際会議 (proceedings あり)	Women Moving: Micro-Level Case Studies of Migrant Women - Migration Policies vs. Entertainers: Female Labor Migrants in Japan from the Former USSR	Kim, Viktoriya	201305	Proceedings of the 2nd Afrasian International Symposium - Multiculturalism in Asia, Afrasian Research Centre (Phase 2), Ryukoku University	
国際会議 (proceedings あり)	The Philippine Government's Roles in Emigration: Programs and Activities of the Commission on Filipinos Overseas (CFO): Summary, Comments, and Synthesis	Kim, Viktoriya	201306	Ryukoku University Afrasian Research Centre Second International Workshop - International Migration and (Re)Integration Issues in the Philippines	

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings な し)	Governance and Management of International Migration: Perspectives from the Sending Countries in Asia and the Former USSR (panel) - Agents or Victims: The Case of Female Labor Migrants from the Former USSR in Japan	Kim, Viktoriya	201306		

所属：グローバル COE プログラム「認知脳理解に基づく未来工学創成」 氏名： 小山 虎

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）、修士（主査\_\_\_\_件、副査\_\_\_\_件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名、副指導教員：後期課程\_\_\_\_名、前期課程\_\_\_\_名）、卒業研究指導学生数\_\_\_\_名、留学生\_\_\_\_名、研究生\_\_\_\_名、その他（ ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書\_\_\_\_件、学術論文\_\_\_\_件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、大学等の報告\_\_\_\_件、解説・総説\_\_\_\_件、書評\_\_\_\_件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	心を持つロボットと安心されるロボット	小山虎	201309	日本ロボット学会学術講演会予稿集	第 31 号, ROMBUN NO.1J3-04
会議報告/口頭発表	時間論上の存在論的対立に適したメタ存在論	小山虎	201311		
国際会議 (proceedings あり)	A Mereological Metaontology for Temporal Ontology	Tora Koyama	201312		

(1) 平成 25 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数：   0   科目  
 ② 学位論文審査： 博士（主査   0   件、副査   0   件）、修士（主査   0   件、副査   0   件）  
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程   0   名、前期課程   0   名、副指導教員：後期課程   0   名、前期課程   0   名）、卒業研究指導学生数   0   名、留学生   0   名、研究生   0   名、その他（          ）

(2) 平成 25 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書   1   件、学術論文   1   件、国際会議   3   件、会議報告   7   件、大学等の報告   0   件、解説・総説   0   件、書評   0   件、その他（          ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Extrapunitive and intropunitive individuals activate different parts of the prefrontal cortex under an ego-blocking frustration.	Minamono, T., Osaka, M, Yaoi, K., & Osaka, N.	201401	PLoS One	9(1): e86036, 1-11
会議報告/口頭発表	An important word automatically catches eyes: A study with a dual task paradigm. (シンポジウム「Special Symposium in Honour of Rudolf Groner, part 2」)	Osaka, N., Minamoto, T., Azuma, M., Yaoi, K., & Osaka, M.	201308	ECEM17	
会議報告/口頭発表	RST 課題遂行中の眼球運動の計測	東美由紀・源健宏・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	763
会議報告/口頭発表	幼児のワーキングメモリ能力の発達—リスニングスパンテストにおける全文再生の有無を指標として—	金田みずき・遠藤香織・東美由紀・稲岡いづみ・源健宏・苧阪満里子	201309	発表論文集	1041
会議報告/口頭発表	頭頂皮質への経頭蓋直流磁気刺激 (tDCS) が注意に及ぼす影響	源健宏・東美由紀・矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	591
会議報告/口頭発表	擬態語と擬音語の脳内神経基盤—fMRI による検討—	矢追健・源健宏・苧阪満里子・苧阪直行	201309	発表論文集	604
会議報告/口頭発表	幼児のワーキングメモリの発達—LST を用いた検討—	金田みずき・遠藤香織・東美由紀・稲岡いづみ・源健宏・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 11

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	経頭蓋直流電気刺激(tDCS)による注意機能の促進—リーディングスパン課題を用いた検討—	源健宏・東美由紀・矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	201311	アブストラクト集	no. 10
会議報告/口頭発表	RST 遂行中の眼球運動: 文における単語の重要性との関連	東美由紀・源健宏・矢追健・苧阪直行・苧阪満里子	201311	アブストラクト集	no. 3
会議報告/口頭発表	Neural modulation of executive function while performing emotional biased working memory task: An fMRI study.	Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., & Osaka, N.	201311	Program	#480.12
会議報告/口頭発表	Onomatopoeias and mimetic words represent mirror system but generate different mental images: An fMRI study.	Yaoi, K., Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.	201311	Program	#285.13